栗ノ木バイパスの歴史紹介

■位置

栗ノ木バイパスは、万国橋交差点～紫竹山 IC 間の６車線道路のことで、もともと栗ノ木川が流れていたところに整備された道路です。現在は明石通りの栗ノ木橋交差点から以北が県道新潟港沼垂線、以南が国道７号に指定されています。

■歴史

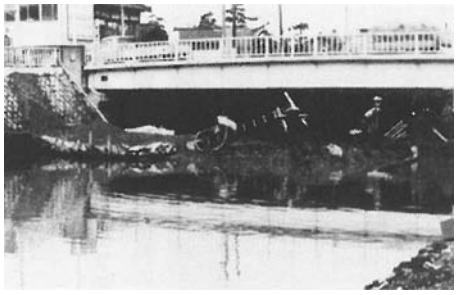
その昔、栗ノ木川は舟運による物流を担い、新栗ノ木川の開削や東洋一と称された栗ノ木排水機場の整備と合わせ、亀田郷の乾田化に貢献した河川です。

しかし、新潟地震後、新潟県の震災復旧事業で亀田郷の排水は親松排水機場が担うことになり、排水路としての役目を終えた栗ノ木川は川幅を狭められ、笹越交差点以北は埋め立てられました。

この埋め立て地を急速な自動車社会の進展等の背景から、新潟県が６車線の都市計画道路（栗ノ木線）として整備したのが栗ノ木バイパスであり、その後の震災復興や新潟市の発展・活性化の一役を担いました。

栗ノ木橋交差点～紫竹山 IC 間は、新潟バイパスや亀田バイパスが整備された後に国道７号に指定され、今後、栗ノ木道路・紫竹山道路事業により高架道路として整備されます。

活気があった栗ノ木川


水が引いた栗ノ木川（栗ノ木橋付近）

写真出典：新潟歴史双書５『新潟の堀と橋』（新潟市）

＜栗ノ木川・栗ノ木バイパスに関する年表＞

西暦	和暦	主な出来事
1651	慶安 4	栗ノ木川の起点に位置する中谷内新田の開発が始まる
1684	貞享元	沼垂町が堀を巡らせた栗ノ木川の両岸（現在地）に移転する
1892	明治 27	亀田郷の排水強化のために新栗ノ木川が開削される
1899	明治 32	信濃川から栗ノ木川への逆流が相次ぎ、河口部に石造閘門を設置
1948	昭和 23	笹越栗ノ木排水機場が稼働。以後、亀田郷の耕地整理が進展
1964	昭和 39	新潟地震発生。地域住民が県・市に栗ノ木川の埋め立てを陳情 県が震災復旧事業で栗ノ木川下流部を埋め立て道路とすることを決定
1965	昭和 40	栗ノ木川が信濃川水系一級河川に指定
1967	昭和 42	山の下閘門が完成。栗ノ木川下流部堰き止め（～昭和 44 年） 栗ノ木線が都市計画街路に指定
1968	昭和 43	栗ノ木バイパス着工
1970	昭和 45	紫竹山－紫雲橋交差点間が開通。新潟バイパス２車線開通
1972	昭和 47	紫竹山 IC 着工
1973	昭和 48	紫雲橋－笹越橋交差点間が開通
1975	昭和 50	栗ノ木バイパス全線開通

出典：新潟歴史双書５『新潟の堀と橋』（新潟市）、あし沼からビッグスワンまで（亀田郷土地改良区山潟工区）、新潟国道事務所資料

●お知らせ●　次号は、「栗ノ木バイパスの歴史－その２」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 31 号

本号は『栗ノ木バイパスの歴史』として、栗ノ木川の埋め立ての経緯や道路整備の歴史についてご紹介します。

今後の予定は？

紫竹山ＩＣおよび笹越橋交差点周辺で１月下旬から高架道路を設計するための地質調査を実施しています。調査は、小型の機械（原動機）を使用し、日中のみの作業となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

栗ノ木道路は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山道路は、事業用地として土地を提供していただく範囲を示すため、用地幅杭を地権者の了解のもと現地に設置しました。現在、用地・建物調査を実施させていただいております。

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

ちょっと気になる？ 用語の解説コーナー

【栗ノ木川】（くりのきがわ）

栗ノ木川は新潟市江南区亀田地先の峰橋～通船川合流点を流れる延長 6,855m の河川です。名称の由来は、人が「くり抜いた」形跡があるから、紫竹の名主・栗原さんと北山の名主・村木さんが造ったことにちなんだ、等の諸説あるようです。（出典：新潟市東区ホームページ）

栗ノ木バイパスの長嶺交差点脇には、そこがかつて栗ノ木川であったことを示す石碑が建てられています。

石碑「ここに栗ノ木川ありき」

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 32 号

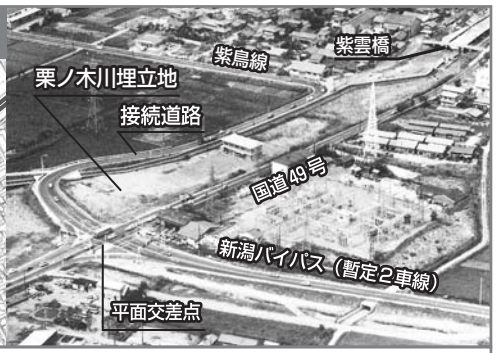
栗ノ木バイパスの歴史紹介 その2

本号は『栗ノ木バイパスの歴史（その2）』として、紫竹山ＩＣの変遷についてご紹介します。

＜紫竹山ＩＣの変遷＞

紫竹山ＩＣは、新潟市の発展基盤を支える新潟バイパス、亀田バイパス、栗ノ木バイパスの接続箇所として、栗ノ木川の埋立地に造られたＩＣです。交通網の整備等とともに形状を変えてきた紫竹山ＩＣの変遷をご紹介致します。

昭和 45 年 12 月供用当初

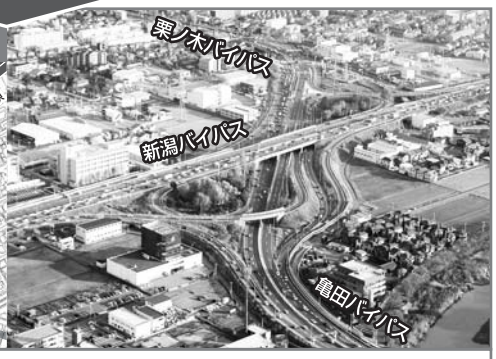


新潟バイパス紫竹山ＩＣ～海老ヶ瀬ＩＣ間（L=5.6km）が暫定２車線で開通した時の状況です。新潟バイパスと国道49号の交差点～紫鳥線間に接続するための道路が整備されています。

昭和 48 年時点

新潟バイパス黒埼ＩＣ～海老ヶ瀬ＩＣ間（L=11.2km）の全線、亀田バイパス鵜ノ子ＩＣ～紫竹山ＩＣ間（L=3.9km）が暫定２車線で開通した時の状況です。各バイパスへの接続道路が整備されていますが、栗ノ木バイパス・亀田バイパスから黒埼ＩＣ方面への交通は、平面交差点になってます。また、昭和49年には紫竹山ＩＣを境に黒埼側が国道８号、海老ヶ瀬側が国道７号になりました。

昭和 53 年～現在



各バイパスへの接続道路が改善され、昭和54・55年には桜木ＩＣ～竹尾ＩＣ間が６車線道路となり現在の紫竹山ＩＣの形状になりました。

栗ノ木道路・紫竹山道路整備後

渋滞緩和や交通事故対策、新潟市のまちづくり支援等を目的として、平成19年に栗ノ木道路、平成23年に紫竹山道路が事業化されました。今後、紫竹山ＩＣでは主に次の３点が現況と大きく変わります。

①紫竹山交差点～笹越橋交差点の連続立体化
②亀田方面から竹尾方面に向かう右折車線の立体化
③新潟新津線から竹尾方向へのハーフＩＣの新設

写真・出典：新潟国道事務所資料

今後の予定は？

紫竹山ＩＣおよび笹越橋交差点周辺で１月下旬から実施しております。

ました地質調査は、無事に終了致しました。ご協力ありがとうございました。

栗ノ木道路は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山道路は、事業用地として土地を提供していただく範囲を示すため、用地幅杭を地権者の了解のもと現地に設置しました。現在、用地・建物調査を実施させていただいております。

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】中央区紫竹１丁目1-23
（主）新潟新津線Ｔ字交差点傍

ぜひご来場ください

【位置図】

●お知らせ●　次号は、「栗ノ木バイパスの歴史－その３」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 33 号

栗ノ木バイパスの歴史紹介 その3

栗ノ木バイパスになる前の栗ノ木川や周辺の街にはどのような歴史があったのでしょうか？　国土地理院発行の旧版地形図（５万分の１）をもとに、栗ノ木川や街の変遷、道路整備の状況などの概要を２回に渡って紹介します。

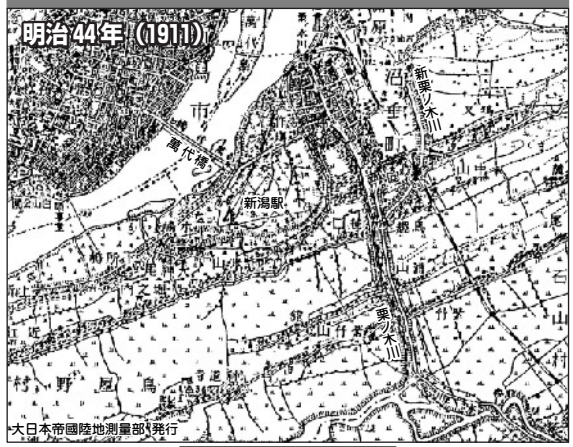
本号は『栗ノ木バイパスの歴史（その3）』として、国土地理院発行の地図をもとに栗ノ木川や道路の整備状況についてご紹介します。

約 100 年前

新潟市人口：（大正９年）約 9.2 万人
※国勢調査の直近データ

●川沿いや砂丘列に集落が形成されています。栗ノ木川には明治 27 年（1892）に鳥屋野潟の排水強化のために開削された新栗ノ木川が見られます。また、信濃川の川幅は非常に広く、明治 42 年（1909）に架け替えられた二代目萬代橋（木造・橋長 782m）が確認できます。

舟運や鳥屋野潟の排水に欠かせない栗ノ木川



大正 3 年（1914）：新潟市と中蒲原郡沼垂町が合併
大正 11 年（1922）：大河津分水通水

約 80 年前

新潟市人口（昭和５年）：約 12.5 万人

●大河津分水通水により川幅が約３分の１に狭まった信濃川には橋が架けやすくなり、昭和４年（1929）に現在の三代目萬代橋（橋長 306.9ｍ）が架橋されました。上流部に昭和橋（木造）が架けられていることもわかります。

三代目萬代橋が人の往来を支え、街の中心に

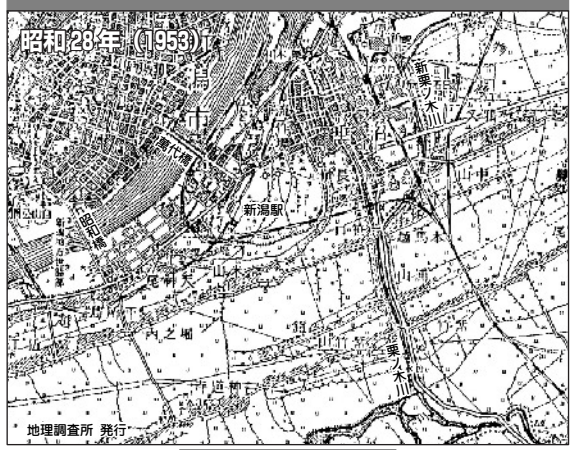
昭和 23 年（1948）：栗ノ木排水機場が完成
昭和 26 年（1951）：新潟港が重要港湾に指定

約 60 年前

新潟市人口（昭和 25 年）：約 22.1 万人

●万代島が陸続きとなり、信濃川右岸の埋め立て地で市街化が進んでいます。万代周辺では鉄道整備が進展し、舟運から鉄道へと流通手段の転換が進んでいる様子がうかがえます。

舟運から徐々に鉄道・自動車の時代へ



昭和 30 年（1955）：新潟大火で中心市街の大部分が焼失
昭和 39 年（1964）：新潟国体開催。新潟地震発生

出典／地図：国土地理院、人口：国勢調査
参考：新潟市歴史双書

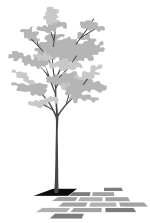
続きは次号で紹介します

今後の予定は？

紫竹山ＩＣおよび笹越橋交差点周辺で１月下旬から実施しておりました地質調査は、無事に終了致しました。ご協力ありがとうございました。

栗ノ木道路は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山道路は、事業用地として土地を提供していただく範囲を示すため、用地幅杭を地権者の了解のもと現地に設置しました。現在、用地・建物調査を実施させていただいております。



編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

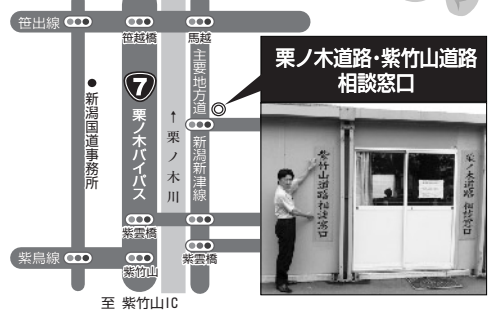
栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】中央区紫竹１丁目 1-23
新潟新津線（旧 R49 号）Ｔ字交差点傍

ぜひご来場ください

【位置図】



●お知らせ●　次号は、「栗ノ木バイパスの歴史－その４」の掲載を予定しています。

万代島ルート線の概要紹介

■ごあいさつ

４月より新潟国道事務所長を務めております松本健です。皆さまにおかれましては、平素から道路行政にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

万代島ルート線は、西港周辺地域と高速道路等を効率的に結び、地域の発展に重要な役割を果たすルートです。現在、新潟国道事務所では新潟市と協力し、万代島ルート線のうち万代橋下流橋・栗ノ木道路・紫竹山道路の３事業をさせていただいております。栗ノ木道路では本年度より工事に着手する予定です。

これからも各事業へのご理解とご協力、また『くりのき通信』のご愛読をよろしくお願い致します。

本号は、４・５月合併カラー特集号として「万代島ルート線の概要」と「平成24年度の事業予定」につきまして、ご紹介致します。

万代島ルート線

万代島ルート線は新潟バイパス紫竹山ICから栗ノ木バイパス、東港線、柳都大橋、広小路通線を経由して寄居町日本銀行前交差点に接続する延長約５・６㎞のルートです。

新潟市の中心市街地である西港周辺や古町地区等と高速道路や広域幹線道路とのアクセス性を向上するとともに、交通を円滑に処理し、西港周辺地域の活性化を図る上で重要な役割を果たします。

平成５年度の万代橋下流橋、平成19年度の栗ノ木道路に続き、平成23年度に紫竹山道路が事業化されています。

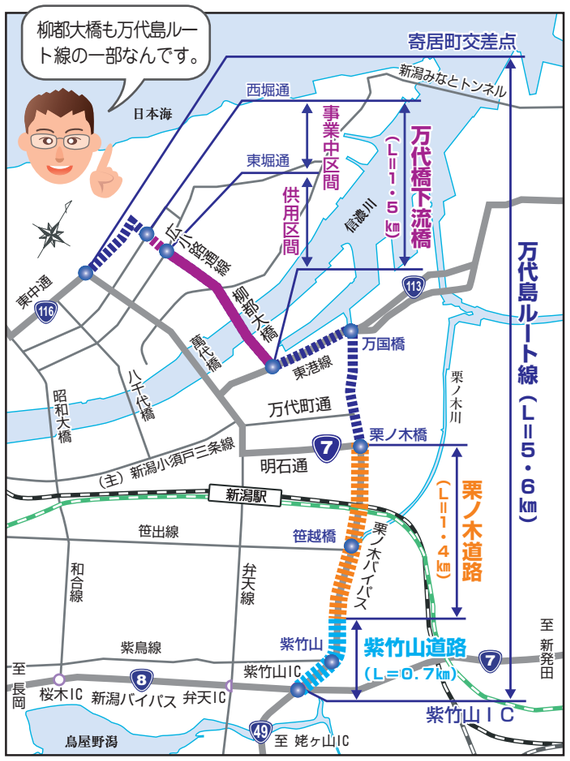
国道７号 栗ノ木道路・紫竹山道路
かわら版
くりのき通信
第 34 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL（025）244-2159（代表）
〒950-0912
新潟市中央区南笹口２-１-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL（025）226-3041（直通）
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
１-602-１

＜事業の概要＞

路線名	起点・終点	延長	幅員※	構造形式
万代島ルート線	新潟市中央区 寄居町～紫竹山３丁目	約5.6㎞	66.5ｍ	【高上式】 新潟市中央区 住吉町～紫竹山３丁目間 約4,360m
万代橋下流橋	新潟市中央区 西堀前通10番町～万代島	1.5㎞	橋梁部41.0m 街路部35.5m	【地表式】 新潟市中央区 寄居町～住吉町間 約1,220m
栗ノ木道路	新潟市中央区 沼垂東２丁目～鐙	1.4㎞	66.5ｍ	
紫竹山道路	新潟市中央区 鐙～紫竹山４丁目	0.7㎞	69.7ｍ	

※標準的な幅員



←次ページへ

■万代島ルート計画における現在までの流れ

- S58・59 新潟港周辺地域整備計画調査
- H２ 万代島ルート基本計画案
- **H４ 都市計画決定告示**
- **H５ 万代橋下流橋事業化**
  - H６ 地域高規格道路 計画路線指定
  - H14 柳都大橋（万代橋下流橋）（0.8km）供用
  - H17 新潟市が周辺13市町村と合併
    H18 新潟駅付近連続立体交差事業の事業化
    H19 新潟市が政令指定都市に移行
  - H20 東堀通～秣川岸通間（0.5km）供用
  - **H19 栗ノ木道路事業化**
  - **H23 紫竹山道路事業化**
- 現　在

平成24年度の事業予定

■平成24年度の事業計画

箇所名	平成24年度当初事業費	事業内容
栗ノ木道路	約12億円	道路・構造物設計、用地買収推進（笹口～鐙地区）、栗ノ木川付替工事着手
紫竹山道路	約 １億円	道路設計、用地買収着手（鐙～紫竹山地区）
万代橋下流橋	約 ５億円	電線共同溝設計、用地買収推進、工事推進（西堀前通～東堀前通）

■完成イメージ

※本図はイメージであり、実際の計画とは異なる場合があります。

栗ノ木道路

栗ノ木道路は、地域を通過する交通と地域に関係ある交通を高架橋と平面道路で分離する「栗ノ木道路」と、紫竹山ICランプ入口交差点の立体整備によって新潟バイパスと「栗ノ木道路」を高架道路で結ぶ「紫竹山道路」を一体的に整備することで、国道７号及び周辺道路の渋滞緩和と死傷事故の削減が期待されています。

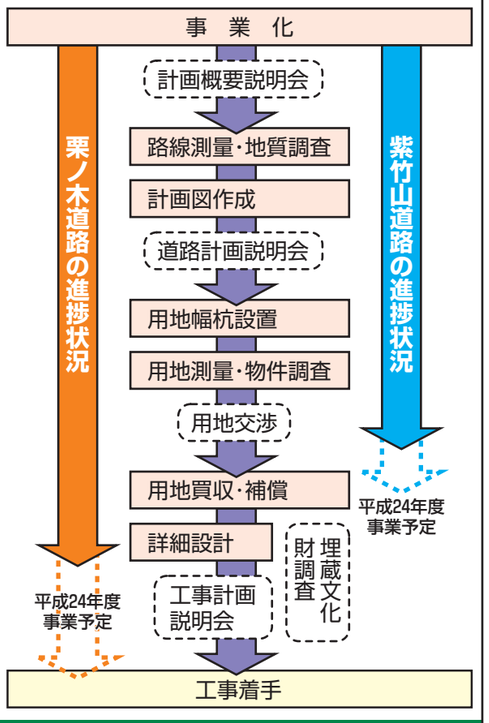
それぞれこれまでに説明会、測量作業、地質調査、用地及び建物調査、用地買収等を実施してきており、多くの方からご協力いただいています。

今年度は両事業合計約13億円の予算により、道路・構造物の設計や用地買収、栗ノ木川の付替工事に着手する予定です。また、新潟県による埋蔵文化財調査も予定されています。

万代橋下流橋

今年度は約５億円の予算により、西堀前通～東堀前通の電線共同溝の設計、舗装工事の推進等を予定しています。

■事業化から工事着手までの流れ



「栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口」開設中！

相談窓口での説明状況
写真撮影については本人の了解をとっています

栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関わる皆さまの疑問や不安を少しでも取り除く手助けとなるよう、事業の進捗状況や道路計画内容についての説明、一般的な用地補償等の相談の場として、「栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口」を開設しています。

今後とも広くコミュニケーションの場としてご活用いただきたいと考えていますので、ぜひ、お気軽にお越しください。

【位置図】

【日時】
毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】
新潟市中央区紫竹１丁目1-23
新潟新津線（旧R49号）Ｔ字交差点傍

※開設日時以外のご相談やご不明な点は新潟国道事務所にお問い合わせ下さい。
TEL.（025）244-2159（代）

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
※くりのき通信のバックナンバーもご覧いただけます。

●お知らせ●　次号は、「栗ノ木バイパスの歴史－その４」の掲載を予定しています。

万代島ルート線の機能・役割

万代島ルート線は、左に示す様々な道路機能を有しています。

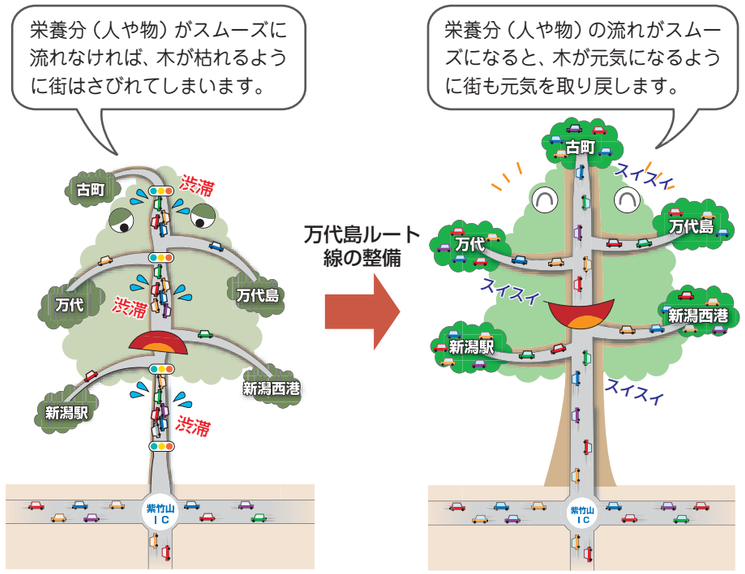
万代島ルート線の大半を占める栗ノ木バイパスでは、新潟バイパスや亀田バイパスから紫竹山ICを経由して新潟市中心部に出入りする交通が集中するため、主要な交差点で慢性的な交通渋滞が発生しています。また、事故も多く、特に紫竹山交差点では追突や右折時の事故が多発しており、重要な課題となっています。

これら渋滞や事故等を減少させることは、中心市街地の活性化や地域のまちづくりの支援にもつながるため、万代島ルート線の整備が求められています。

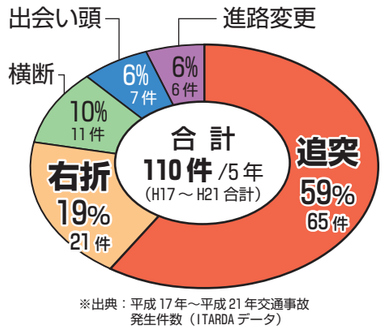
＜万代島ルート線の主な道路機能＞

① 沿線地区等から高速道路や広域幹線道路への接続。
② 都心環状道路（笹出線～和合線～東中通～万代島ルート）の一部として、都市内交通の円滑化。
③ 信濃川下流にかかる各橋梁の交通混雑の軽減。
④ 主要交差点の混雑緩和と、地域交通の利便性向上。
⑤ 沿線地区等の地域の活性化支援。
⑥ 人や自転車の通行の快適性、沿道の環境に配慮したシンボルロード。

■万代島ルート線の機能・役割のイメージ

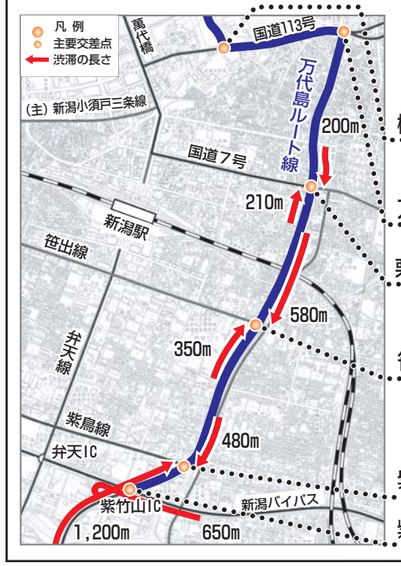


■紫竹山交差点の死傷事故類型

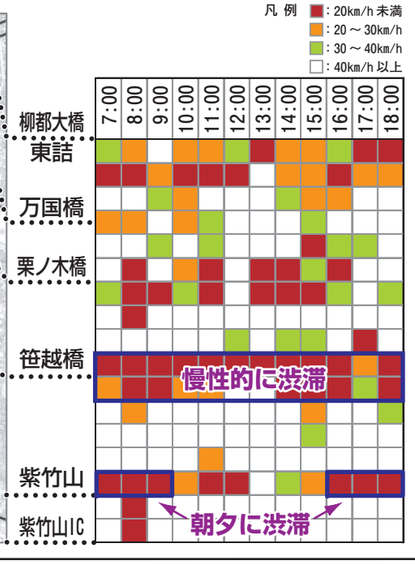


※出典：平成17年～平成21年交通事故発生件数（ITARDAデータ）

■栗ノ木バイパスの渋滞状況

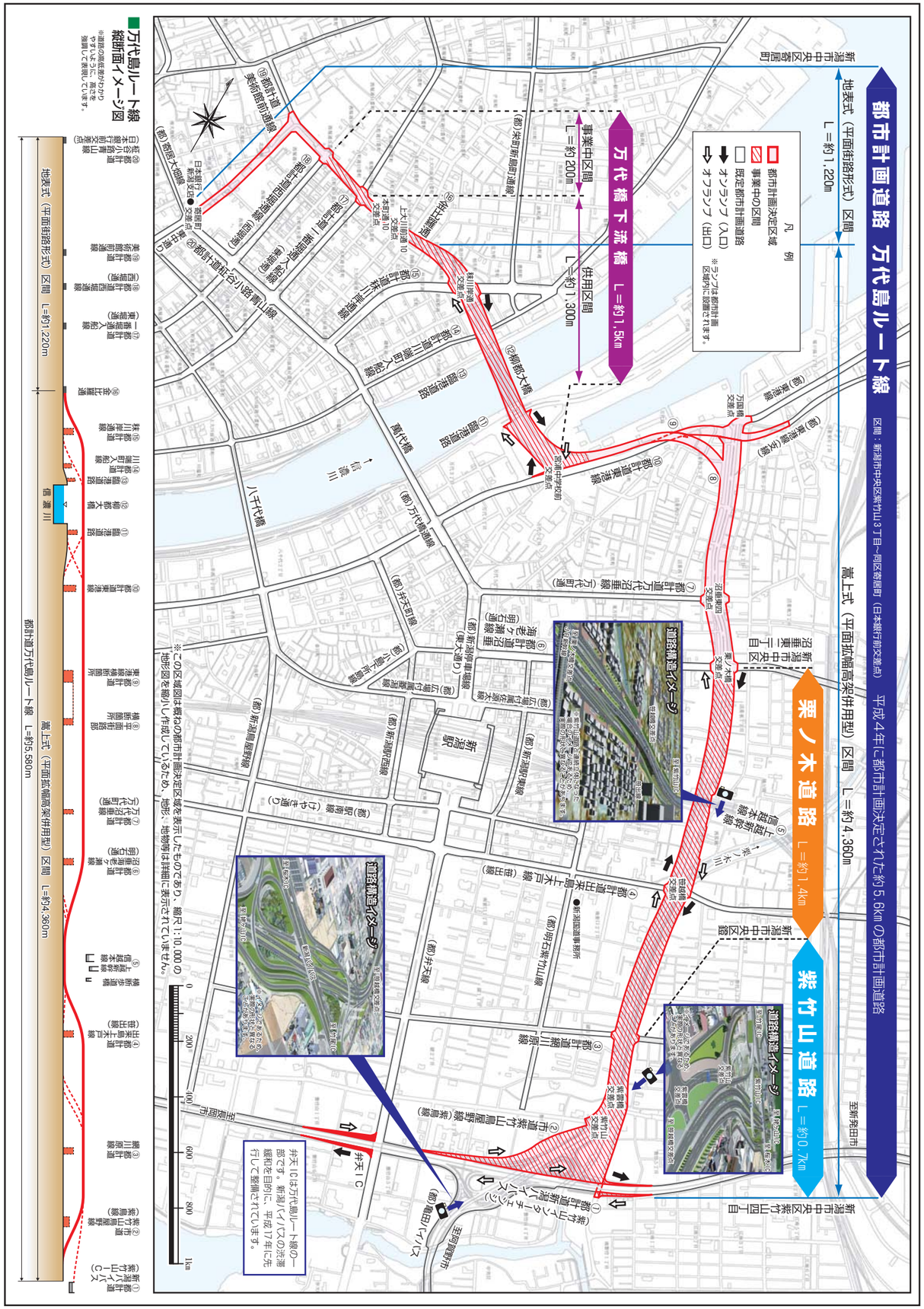


＜時間帯別旅行速度＞



万代島方向（上り）への渋滞
（笹越橋交差点手前から万代島方向を望む）

紫竹山IC方向（下り）への渋滞
（笹越橋交差点から万代島方向を望む）



栗ノ木バイパスの歴史紹介 その4

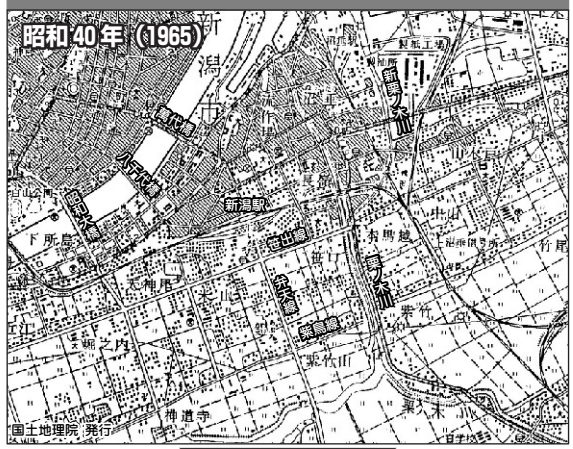
栗ノ木バイパスが整備される前の栗ノ木川や周辺の街にはどのような歴史があったのでしょうか？ 本号では、第33号に引き続き国土地理院発行の旧版地形図（５万分の１）をもとに、栗ノ木川や街の変遷、道路整備の状況などの概要を紹介します。

約50年前

新潟市人口：（昭和40年）約35.6万人

●新潟国体・新潟地震の翌年の地図です。市街化や地盤沈下等の影響により町中の堀や川が道路に整備されましたが、栗ノ木川にはまだ多くの橋が確認できます。新潟駅は現在の位置に移転しており、八千代橋や昭和大橋、笹出線・紫鳥線・弁天線といった幹線道路も確認できます。この頃、水害対策として住民から栗ノ木川の埋立の陳情もあがり、新潟地震の復旧のために栗ノ木川は栗ノ木バイパスに整備されることとなりました。

新潟地震の復旧のため、道路に生まれ変わる栗ノ木川



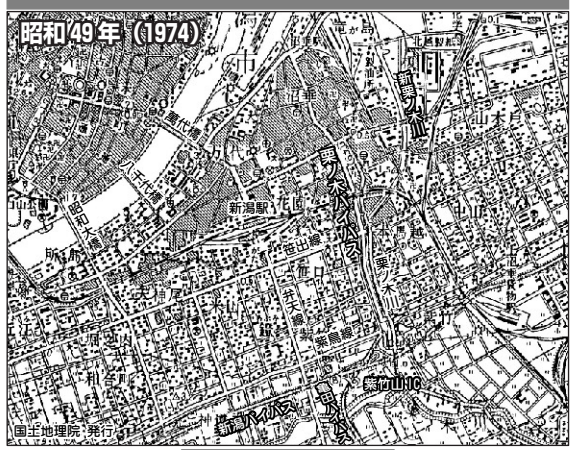
昭和42年（1967）栗ノ木川下流部の堰き止め開始
昭和43年（1968）栗ノ木川バイパス着工

約40年前

新潟市人口（昭和45年）：約38.4万人

●鳥屋野潟の排水を担う親松排水機場等が整備されたことで、栗ノ木川の川幅を狭めることが可能になり、狭めた川の跡地を道路整備したのが栗ノ木バイパスです。新栗ノ木川との分岐点以北から埋め立てが始まりました。
自動車社会の到来を見据え、同時期に整備されている新潟バイパスや亀田バイパス、紫竹山ICの様子も確認できます。

自動車社会の到来を見据え、バイパス整備が進展



昭和50年（1975）：栗ノ木バイパス全線開通

約25年前

新潟市人口（昭和60年）：約47.6万人

●新潟バイパス等の広域幹線道路がほぼ整備されたことに加え、昭和57年の上越新幹線開業で新潟駅周辺の都市化がさらに進展しています。
新潟西港周辺地域のさらなる活性化のため、高速道路や広域幹線道路との連絡性の向上を図る「万代島ルート線」が栗ノ木バイパスを含む区間で平成４年９月に都市計画決定され、10月には県が万代島を国際交流拠点とする整備方針を決定しました。
万代島ルート線は、平成14年に柳都大橋、平成17年に弁天ICなどが整備されていきます。

新潟市活性化のための重要路線「栗ノ木バイパス」

平成４年（1992）：万代島ルート線が都市計画決定
平成５年（1993）：一般国道７号 万代橋下流橋事業化
平成19年（2007）：一般国道７号 栗ノ木道路事業化
平成23年（2011）：一般国道７号 紫竹山道路事業化
現　在

出典／国土地理院、国勢調査、新潟市歴史双書

本号は『栗ノ木バイパスの歴史（その４）』として、国土地理院発行の地図をもとに栗ノ木川や道路の整備状況についてご紹介します。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。
また、南笹口～鐙地区では新潟県による埋蔵文化財試掘調査が７月上旬から実施されます。
引き続きご理解とご協力をお願い致します。

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】中央区紫竹１丁目1-23
新潟新津線（旧国道49号）Ｔ字交差点傍

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第35号

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通1-602-1

●お知らせ●　次号は、「相談窓口での相談内容紹介」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 36 号

相談窓口の利用状況・相談内容紹介

■栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口の利用状況

相談窓口は平成21年5月の開設以来、平成24年3月31日までに計141日運営しており、延べ328件の相談がありました。今回、各年度ごとの「運営日数及び相談件数」、「相談者の内訳」、「相談内容の種類」についてまとめてみました。今後も、より丁寧な窓口対応を心がけていきたいと思います。

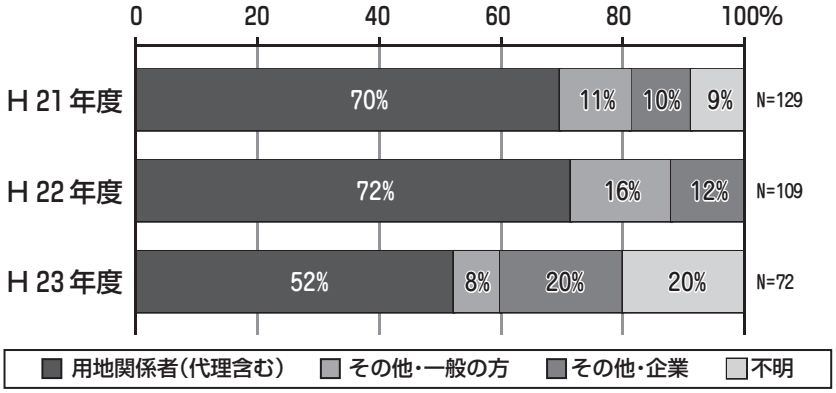
各年度の運営日数及び相談件数

年　度	運営日数	相談件数
H 21 年度 (5/21～)	43	129
H 22 年度	49	109
H 23 年度	49	90
合　計	141	328

相談窓口は開設から3年が経過しましたが、平成23年度も前年度同様に100件近くのご相談を受け付けており、市民の皆さまに広くコミュニケーションの場としてご利用いただいています。

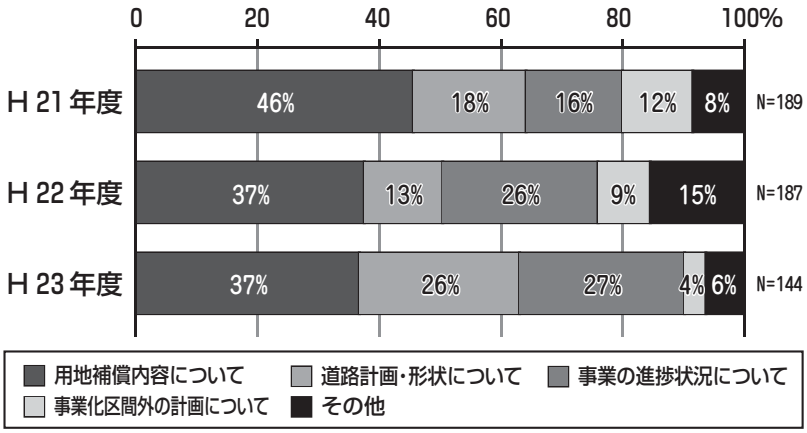
相談者の内訳 ※複数名での来場は代表者のみ集計

来場者の半数以上が「用地関係者（代理含む）」となっていますが、「その他・一般の方」も毎年約10%を占めています。



相談内容の種類 ※1回のご来場で複数の相談内容があるため、相談件数と一致しません

相談窓口開設当初の相談内容は「用地補償や移転に関するもの」が多かったですが、用地買収の進展や、平成23年度の紫竹山道路事業化に伴い、「道路計画」、「事業進捗」に関する質問が増加しています。



国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関わる皆さまの疑問や不安を少しでも取り除く手助けとなるよう、事業の進捗状況や道路計画内容についての説明、一般的な用地補償等の相談の場として、平成21年5月21日に「栗ノ木道路相談窓口」を開設しました。また平成23年4月には「紫竹山道路相談窓口」を併設しました。

そこで本号では、「相談窓口の利用状況や相談内容」をご紹介します。

現在、相談窓口は用地関係者の皆さまの不安解消・生活再建検討の場としてご活用いただいています。今後ともぜひ、お気軽にお越しください。

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通1-602-1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】中央区紫竹1丁目1-23

【位置図】

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

また、新潟県が南笹口～鐙地区で実施していました埋蔵文化財試掘調査は、7月上旬に無事完了しました。ご協力ありがとうございました。

●お知らせ●　次号は、「相談窓口での相談内容紹介－その２」の掲載を予定しています。

相談窓口の利用状況・相談内容紹介 その2

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 37 号

本号は、「相談窓口の利用状況・相談内容紹介」として、これまでに相談窓口にご来場いただいた皆さまから寄せられたご質問とその回答をご紹介します。

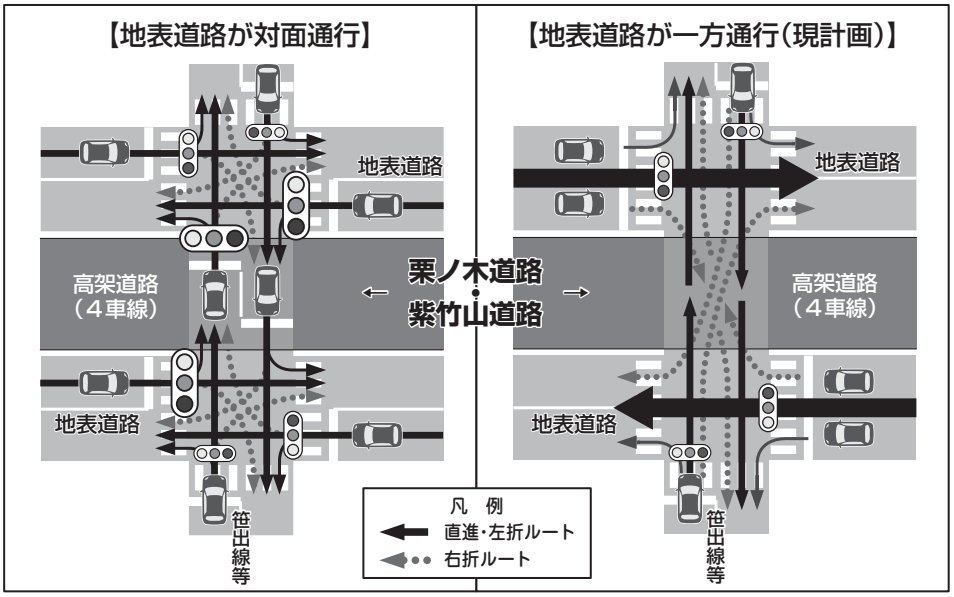
今後とも相談窓口へぜひ、お気軽にお越しください。

■ 栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口 Q&A

Q. 地表道路はどうしても一方通行になるの？

A．地表道路を対面通行可能な道路にすると、２つの交差点が連なるため、かえって渋滞や交通事故を招く危険性が高まります。一方通行は不便と思われがちですが、交通が整理され信号機の数も減るため運転もしやすく、歩行者や自転車にとっても安全に横断できるなどの利点があります。

＜笹越橋交差点における自動車の通行イメージ図＞



Q. 自宅や駐車場への“乗り入れ”はどうなるの？

A．新たに道路から自宅や駐車場といった民有地に車で出入り（乗り入れ）を行いたい方は、道路法第24条に基づく道路管理者への申請とその承認が必要となります。これは、歩道等が通常、自動車が通行するための構造となっていないため、申請者において乗り入れ部の補強工事が必要となるためです。なお、乗り入れは歩道・車道の安全性や走行性を確保するため、「設置できない箇所」等が以下のように定められています。

【乗り入れに関する主な条件】
- 民地側に駐車スペースがあること
- 乗り入れ幅は４ｍ（普通車の場合）
- 乗り入れ箇所は原則１カ所

既存の乗り入れに関することや他にも乗り入れに関する様々な条件がありますので、まずは新潟国道事務所か相談窓口へご相談ください。

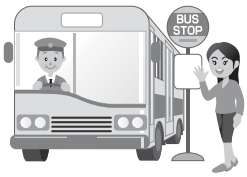
【設置が承認されない場合の例】

■交差点の停止線や横断歩道、道路の曲がり角に近すぎる場合

■横断歩道橋に近すぎる場合

■バス停に近すぎる場合

※道路整備後のバス停の位置は、交通事業者等と協議中です。



■その他道路交通法で駐停車が禁止されている場所 など

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

また、紫竹山道路のランプ橋の路線測量を計画しています。詳しくは次号以降にお知らせいたします。

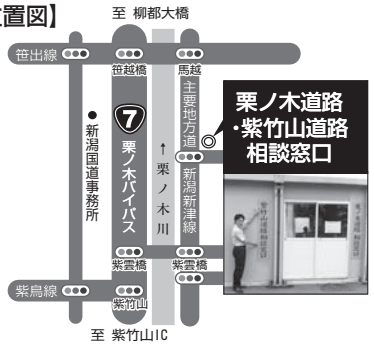
編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通1-602-1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝祭日は除きます）

【場所】中央区紫竹１丁目1-23

【位置図】



●お知らせ●　次号は、「相談窓口での相談内容紹介－その３」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 38 号

相談窓口の利用状況・相談内容紹介 その3

本号は、「相談窓口の利用状況・相談内容紹介」として、これまでに相談窓口にご来場いただいた皆さまから寄せられたご質問とその回答をご紹介します。

今後とも相談窓口へぜひ、お気軽にお越しください。

■ 栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口 Q&A

Q.「用地補償」はどのように進めるの？

A．栗ノ木道路・紫竹山道路事業における用地補償の手続きは、皆様とご相談しながら、概ね下表のとおり段階的に進めていきます。

【用地補償の基本的な流れ】

①事業計画などの説明
②用地幅杭の打設
③土地や建物などの調査
④土地調書・物件調書の確認
⑤補償内容及び補償金の説明
⑥契約
⑦土地の登記・建物などの移転及び土地の引き渡し
⑧補償金の支払い
⑨事業用地の管理

Q. 補償金はどのようにして決めるの？

A．適切で公平な補償を行うため、国が定めた統一的な基準に基づき補償金を算定します。補償項目は主に以下のとおりです。

土地の補償

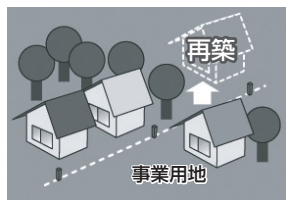
お譲りいただく土地に対しては、正常な取引価格をもって補償することになります。正常な取引価格は、近傍の同一の状況にある地域の取引事例価格（公示価格、基準地価格を含む）を基にして、不動産鑑定士から不動産鑑定評価書を聴取するなどして適正に算定します。

建物の補償

移転していただく建物の補償は、次の再築、曳家などの移転工法により算定します。なお、移転工法は、私どもにおいて残地の状況、建物の配置、構造などを総合的に検討し、皆さまにご説明させていただきます。

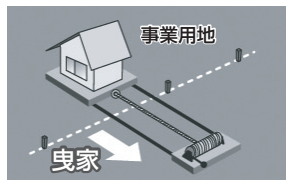
再築工法

曳家工法、除却工法、改造工法などにより移転できない場合の移転工法となります。この移転工法は、現在の建物と同じものを現時点で建築した場合の費用（これを推定再建築費と言います。）に一定の率（これを再築補償率と言います。）を乗じた額に取壊し費用を加えた額を補償させていただくことになります。再築補償率は、建物の構造や柱材の種類、経過年数などにより異なりますが、同程度の建物であれば新しいものほど高率となります。



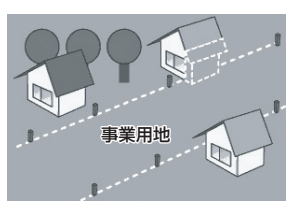
曳家（ひきや）工法

宅地の一部をお譲りいただく場合で、残地に現在の建物を移転するスペースがあるときなどは、建物を残地に曳家する費用を補償させていただくことになります。



その他の移転工法

建物の一部だけを切り取っても不都合が生じない場合には、その部分を切取り、切取った面を補修する費用（除却工法）又は切取ったうえ、必要に応じて建物を改造等する費用（改造工法）を補償させていただくことになります。



その他

その他、借地権や耕作権などの補償、工作物・立木の補償、営業補償、建物の移転に伴う経費の費用があります。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。

また、合わせて道路の測量や設計を実施しています。

今後もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

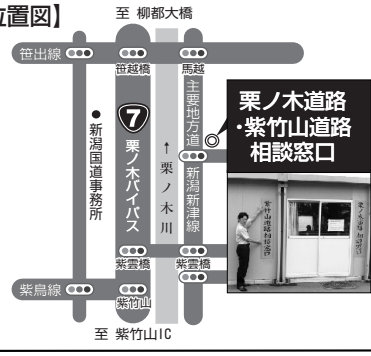
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通 1-602-1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日は除きます）

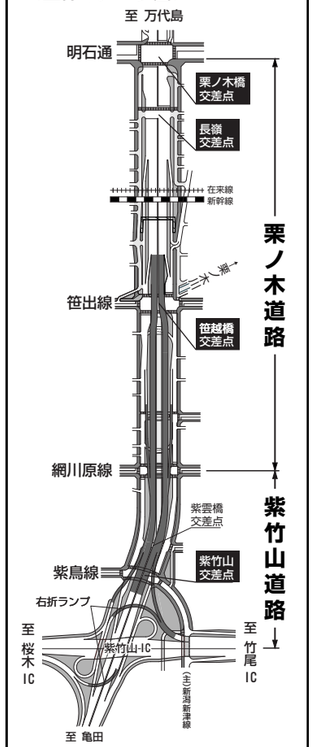
【場所】中央区紫竹１丁目1-23

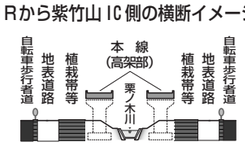
【位置図】

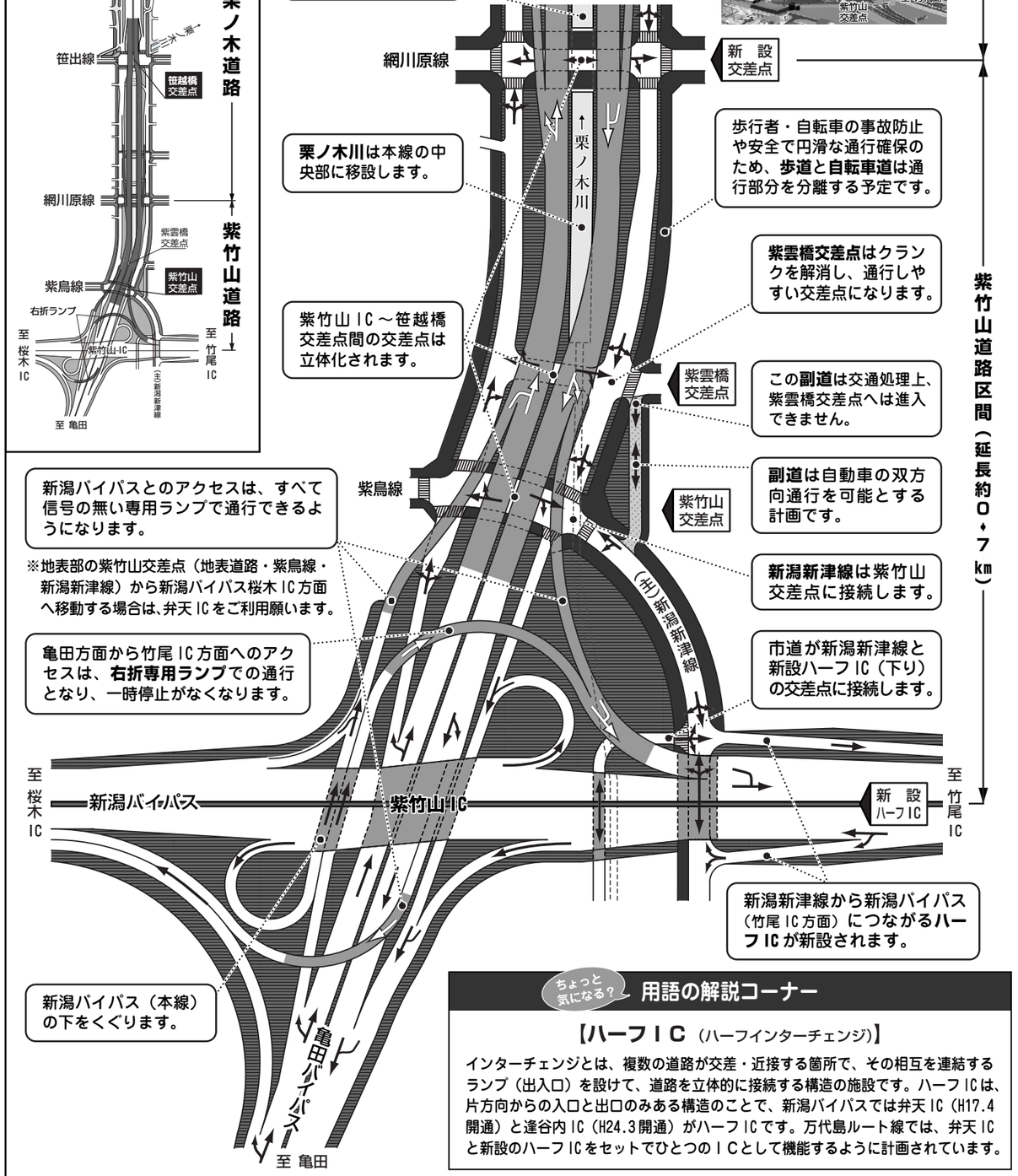


●お知らせ●　次号は、「相談窓口での相談内容紹介－その４」の掲載を予定しています。

■紫竹山道路区間の利用形態等の主な変更点







網川原線～栗ノ木橋交差点間が**栗ノ木道路**です。

栗ノ木川は本線の中央部に移設します。

紫竹山ＩＣ～笹越橋交差点間の交差点は立体化されます。

新潟バイパスとのアクセスは、すべて信号の無い専用ランプで通行できるようになります。

※地表部の紫竹山交差点（地表道路・紫鳥線・新潟新津線）から新潟バイパス桜木ＩＣ方面へ移動する場合は、弁天ＩＣをご利用願います。

亀田方面から竹尾ＩＣ方面へのアクセスは、**右折専用ランプ**での通行となり、一時停止がなくなります。

新潟バイパス（本線）の下をくぐります。

歩行者・自転車の事故防止や安全で円滑な通行確保のため、**歩道と自転車道**は通行部分を分離する予定です。

紫雲橋交差点はクランクを解消し、通行しやすい交差点になります。

この副道は交通処理上、紫雲橋交差点へは進入できません。

副道は自動車の双方向通行を可能とする計画です。

新潟新津線は紫竹山交差点に接続します。

市道が新潟新津線と新設ハーフＩＣ（下り）の交差点に接続します。

新潟新津線から新潟バイパス（竹尾ＩＣ方面）に**つながるハーフＩＣ**が新設されます。

ちょっと気になる？ 用語の解説コーナー

【ハーフＩＣ（ハーフインターチェンジ）**】**

インターチェンジとは、複数の道路が交差・近接する箇所で、その相互を連結するランプ（出入口）を設けて、道路を立体的に接続する構造の施設です。ハーフＩＣは、片方向からの入口と出口のみある構造のことで、新潟バイパスでは弁天ＩＣ（H17.4開通）と逢谷内ＩＣ（H24.3開通）がハーフＩＣです。万代島ルート線では、弁天ＩＣと新設のハーフＩＣをセットでひとつのＩＣとして機能するように計画されています。

●お知らせ●　次号は、「万代橋下流橋事業（西堀・東堀間）の工事について」の掲載を予定しています。

相談窓口の利用状況・相談内容紹介 その4

本号は、「相談窓口の利用状況・相談内容紹介」として、これまでに相談窓口にご来場いただいた皆さまから寄せられたご質問とその回答をご紹介します。

今後とも相談窓口へぜひ、お気軽にお越しください。

■ 栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口 Q&A

Q. 道路の利用はどのように変わるの？

A．本事業で道路の利用形態が変化する箇所等の疑問について、地域の皆さまから多数ご質問をいただいています。そこで今回は、整備区間における利用形態等の主な変更点について、改めてご紹介します。

■栗ノ木道路区間の利用形態等の主な変更点

＜凡　例（両ページ共通）＞
- 自転車歩行者道
- 副　道
- 高 架 部
- 植栽帯等
- 地表道路
- 河　川
- 車両の通行方向(整備区間のみ表示)

※副道の通行方法や新設交差点の横断歩道等は、地域の皆さまや警察との協議により変更の可能性があります。栗ノ木橋交差点は、都市計画決定での将来構造は高架構造となります。

歩行者・自転車の事故防止や安全で円滑な通行確保のため、**歩道と自転車道**は通行部分を分離する予定です。

笹越橋交差点から北側の**副道**は、自動車の双方向通行を可能とする計画です。

馬越交差点は廃止となりますが、**横断歩道橋**等を設置し、歩行者の利便性を確保する計画です。

新潟新津線は廃止する馬越交差点付近から栗ノ木道路に合流します。

笹越橋交差点～紫竹山ＩＣ間の交差点は立体化されます。

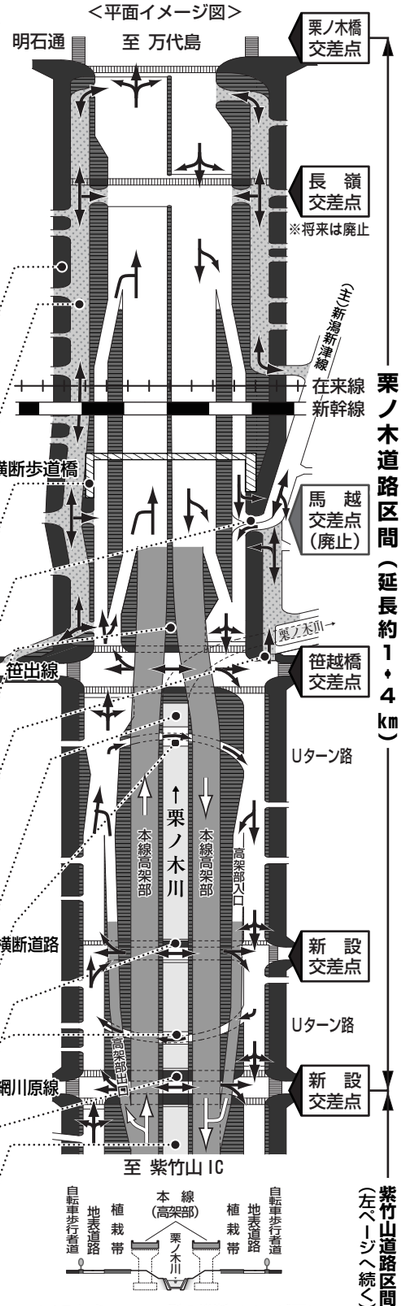
山本橋付近の副道は交通処理上、笹越橋交差点へは進入できません。交差点から副道への一方通行とする計画です。

栗ノ木川は本線の中央部に移設します。

沿道の利便性を考慮し、**Ｕターン路**の設置を計画しています。

本線高架部の整備により、新しく２箇所の交差点の設置が可能となります。歩行者の利便性を配慮し、**横断歩道**の設置も計画しています。

網川原線～紫竹山ＩＣ間が**紫竹山道路**です。



＜ＪＲから紫竹山ＩＣ側の横断イメージ図＞

国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 39 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

また、年内に『くりのき通信』に関するアンケートを予定しています。

栗ノ木道路・紫竹山道路
相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場所】中央区紫竹１丁目1-23

ちょっと気になる？ 用語の解説コーナー

【歩道と自転車道の分離】

例）万代橋下流橋区間

自転車歩行者道における“歩行者と自転車の事故防止”や“安全で円滑な通行”を確保するため、通行部分を明示する取り組みが市内各所で始まっています。

万代橋下流橋事業（西堀～東堀間）の工事について

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 40 号

現在、万代島ルート線の一部である「万代橋下流橋事業」で西堀～東堀間の道路拡幅工事を行っています。工事の着手に当たっては、地域の皆様のご協力により無事着手することができました。ありがとうございます。

本号では、平成24年11月に実施しました地元説明会での説明内容の一部をご紹介いたします。

今後、工事の進捗により9時～17時の作業時間内で交通規制を行う場合がございますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

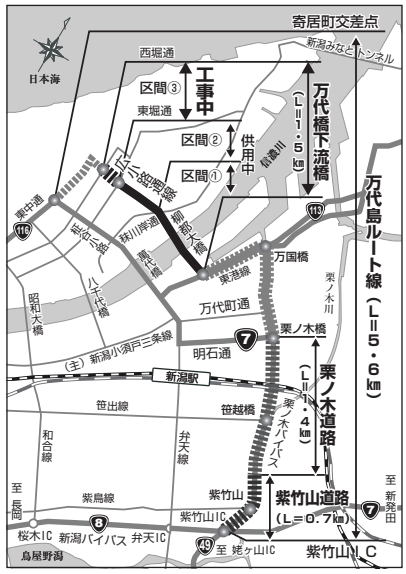
万代橋下流橋事業の概要

万代橋下流橋は、平成４年に都市計画決定された万代島ルート線の一部であり、一般国道７号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を目的とした、延長約1.5㎞の道路です。

起点・終点：新潟市中央区 西堀前通10番町～万代島
延　　長：1.5㎞
幅　　員：橋梁部41.0m、街路部35.5m

＜万代橋下流橋の各工区の進捗＞

○秣川岸通 ～ 万代島（延長0.8㎞）【区間①】
・平成14年5月14日に４車線暫定供用
○東堀前通～秣川岸通（延長0.5㎞）【区間②】
・平成20年3月29日に４車線暫定供用
○西堀前通～東堀前通（延長0.2㎞）【区間③】
・工事中

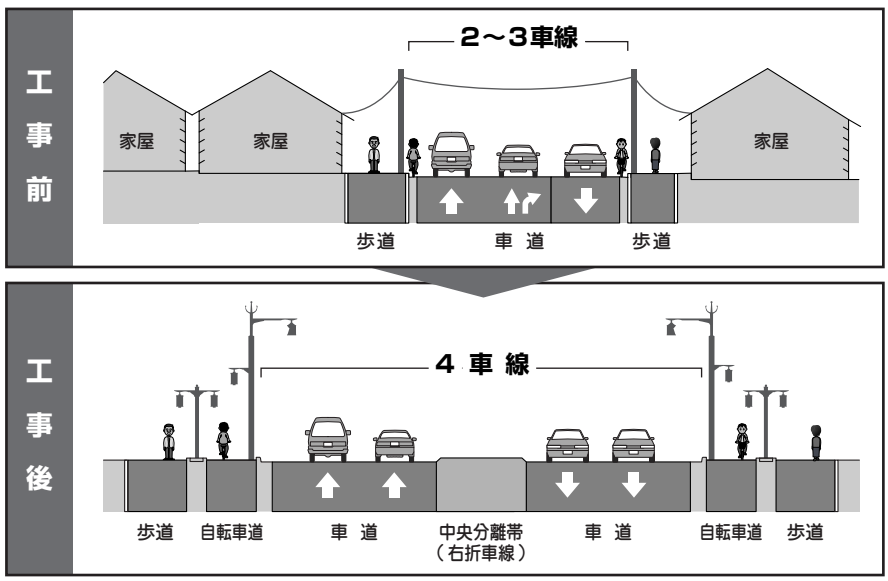


「柳都大橋」の橋名は、新潟の更なる発展、にぎわいのある水と緑の豊かなまちとして未来に続くことを祈念して、一般公募により命名されました。

西堀・東堀間における工事概要

西堀前通～東堀前通（延長0.2㎞）の工事では、道路拡幅（４車線化）、電線共同溝、排水性舗装、歩道の雨水浸透型舗装、自転車道・歩道の設置等を実施します。本事業により、新潟都心地域の慢性的な交通渋滞の緩和が期待されるとともに、柾谷小路でのバスの利便性向上など政令市新潟の新しいまちづくりの支援に寄与することが期待されます。

＜工事前後の道路イメージ＞



今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

また、「くりのき通信」や「相談窓口」の運営方針についてご意見を伺うアンケート調査を計画しています。

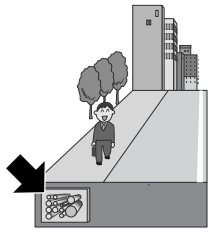
栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日を除く）※１月３日は休み
【場所】中央区紫竹１丁目1-23

＜西堀・東堀間における工事の効果＞

電線類の地中化

電柱が無くなることで良好な景観の創出、通行空間としての機能向上、災害時の被害軽減等が図られます。



歩道と自転車道の分離

“歩行者と自転車の事故防止”や“安全で円滑な通行”を確保するため、通行部分を分離します。

例）東堀前通～秣川岸通区間

●お知らせ●　次号は、「栗ノ木道路・紫竹山道路の目的（渋滞の解消）について」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 41 号

「新潟県渋滞対策協議会」の活動について

新潟国道事務所では、社会資本を通じ、国民、地域生活の安全・安心を確保するため、万代島ルート線の一部区間である「万代橋下流橋」「栗ノ木道路」「紫竹山道路」事業を推進するとともに、交通安全・渋滞対策事業や道路管理事業など様々な事業に取り組んでおります。

最近の取り組みとして、行政関係者と道路利用者団体等からなる「新潟県渋滞対策協議会」を設立し、データに基づく客観的な分析と道路利用者へのアンケート調査をもとに主要渋滞箇所を選定しました（下記参照）。併せて渋滞箇所への対応方針を検討する予定です。

今後とも皆様のご理解・ご協力を頂きながら事業を進めるとともに、冬本番を迎え冬期交通確保を図るべく当事務所一丸となって取り組んで参ります。

新潟県渋滞対策協議会の概要

■これまでの取り組み

第１回協議会（H24. 7）：主要渋滞箇所の選定方法検討

第２回協議会（H24.11）：アンケート（パブリックコメント）
☒　☒　☒　実施方針の検討

第３回協議会（H24.12）：データとアンケートによる地域の
☒　☒　☒　主要渋滞箇所の選定

■選定された「地域の主要渋滞箇所」

高速道路：７箇所（磐越自動車道３箇所、上信越自動車道４箇所）

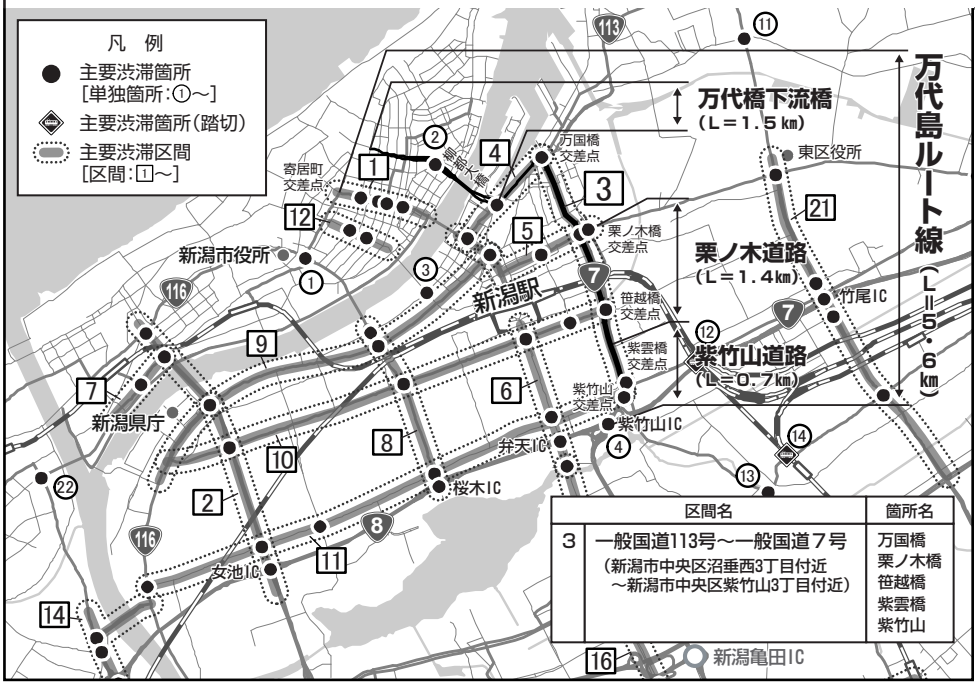
一 般 道：303箇所（５エリア・24区間・118箇所）

- エリア：混雑区間・箇所が面的に広がる地域
- 区　間：交差点の連続等により速度低下区間が連続する区間
- 箇　所：単独で主要渋滞箇所を形成する地点

【構成員】

- 社団法人新潟県商工会議所連合会
- 新潟県道路整備協会
- 新潟県ハイヤー・タクシー協会
- 公益社団法人新潟県トラック協会
- 社団法人新潟県バス協会
- 東日本高速道路（株）
- 新潟県県警本部
- 新潟県
- 新潟市
- 国土交通省（北陸地方整備局、北陸信越運輸局）

＜主要渋滞箇所位置図（新潟市中心部エリア周辺の場合）＞



「栗ノ木道路・紫竹山道路」の事業区間も主要渋滞区間として選定されています。また、「栗ノ木橋交差点」「笹越橋交差点」「紫雲橋交差点」「紫竹山交差点」も主要渋滞箇所として選定されています。

新潟県全体の詳しい主要渋滞箇所につきましては、右記ホームページをご覧下さい。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

また、「くりのき通信」や「相談窓口」の運営方針についてご意見を伺うアンケート調査を計画しています。

新潟県渋滞対策協議会に関するホームページはこちら！

にいこく　検索

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2013012401jyutai.pdf

にいこく NEWS より
「主要渋滞箇所」の選定結果について

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通 1-602-1

●お知らせ●　次号は、「くりのき通信・相談窓口に関するアンケート調査結果について」の掲載を予定しています。

くりのき通信に関するアンケート結果報告

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 42 号

本号より2回にわたり、2月に実施しました『くりのき通信』と『相談窓口』に関するアンケート調査の結果をご紹介いたします。

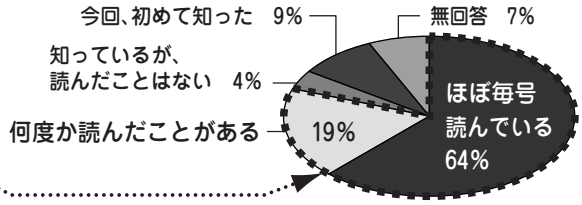
ご協力頂きました皆さまありがとうございました。今回のご意見等を参考に、より興味を持っていただけるような紙面作りに努めて参ります。

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

■ アンケートの結果

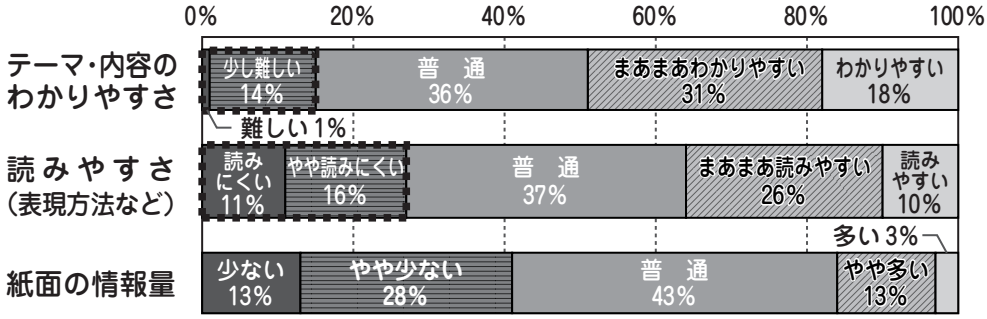
●目　　的：『くりのき通信』と『相談窓口』の改善点等の把握
●調査期間：平成25年2月12日～2月22日
●対 象 者：「栗ノ木道路・紫竹山道路事業」用地補償対象者、相談窓口利用者 など
●回 収 率：32.2%　※郵送による配布・回収

Q.『くりのき通信』をご存知でしたか？



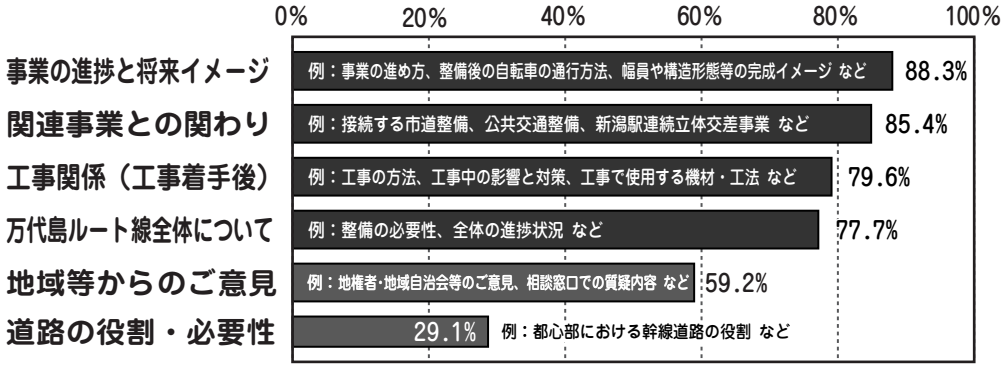
読んだことがある方は83%

Q.『くりのき通信』を５段階で評価してください。　※読んだことがある方のみ回答



難しい内容をわかりやすく・読みやすくしようとして情報量を抑えると、返って内容がわかりにくく・読みにくくなることもあるようです。「難しい」「読みにくい」等のご意見に応えるためにも、“情報量の充実”と“読みやすさ”を両立できるよう工夫していきます。

Q. 今後、どのような情報を掲載すればよいと思いますか？（複数回答可）



「事業の進捗と将来イメージ」や「関連事業との関わり」、「工事関係」、「万代島ルート線全体」への関心の高さがうかがえます。今後、上記のご意見を踏まえできるだけより詳しく紹介していきます。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口開設中！

【日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】中央区紫竹１丁目1-23

くりのき通信の概要

『くりのき通信』は、栗ノ木道路事業の地権者や沿線地区にお住まいの方々など、事業に関わる皆さまの不安なお気持ちを少しでも取り除く手助けとなるようにと平成21年度に創刊した広報紙です。平成23年度からは紫竹山道路事業に関する地区の皆さまも対象に加え、事業の状況や関連する情報、今後の予定などについて月１回程度でお知らせしています。ホームページではバックナンバーをご覧いただけます。**「みちナビ新潟」** にいにく 検索

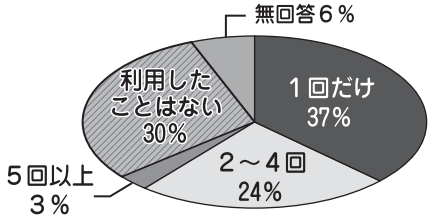
●お知らせ●　次号は、「相談窓口に関するアンケート結果報告」の掲載を予定しています。

相談窓口に関するアンケート結果報告

■ アンケートの結果

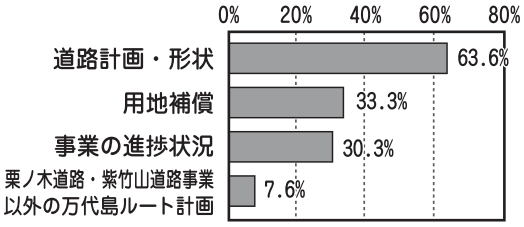
●目　　的：『くりのき通信』と『相談窓口』の改善点等の把握
●調査期間：平成25年2月12日～2月22日
●対 象 者：「栗ノ木道路・紫竹山道路事業」用地補償対象者、相談窓口利用者 など
●回 収 率：32.2%　※郵送による配布・回収

＜利用状況＞



●回答頂いた方の約6割の方に利用して頂いています

＜相談内容＞（複数回答可）



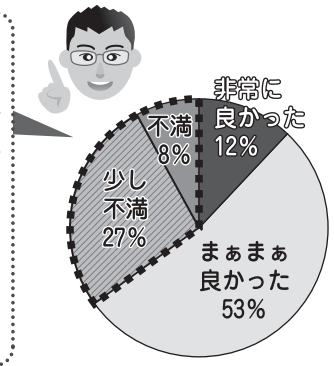
●道路計画・形状に関するご相談が多くの割合を占めています

Q．相談窓口を利用した「満足度」をお聞かせください。

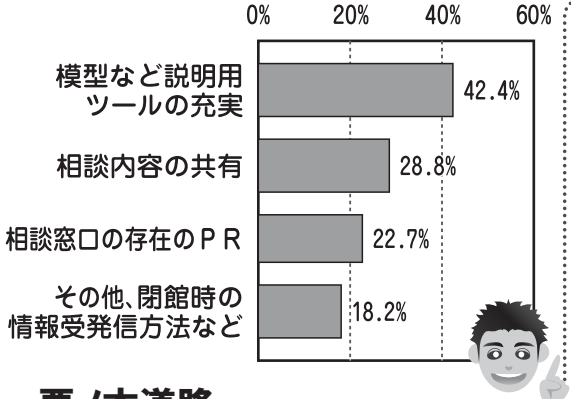
■不満を感じた理由

「係が毎回違った」
●窓口対応は新潟国道事務所・新潟市の担当職員数名が交替で担当しており、週によって担当者は異なりますが、ご相談内容は担当者間で共有しております。

「入りにくい・笑顔がない」
●お気軽に利用して頂けるように、担当職員一同でよりよい雰囲気作りに努めて参ります。



Q．相談窓口をよりよいものにするために改善すべきことは？（複数回答可）



●道路計画・形状に関するご相談が多いこともあり、構造の複雑な紫竹山IC等についての説明用ツールの追加を検討します。
●「相談内容の共有」や「窓口のＰＲ」は、引き続きくりのき通信でも取り上げて行きます。
●「開館しているか分かりにくい」とのご意見がありましたので、看板等の設置を検討します。

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口の概要

【開設日時】毎週木曜日 10:00～19:00（年末年始・祝日は除きます）

『相談窓口』は、栗ノ木道路・紫竹山道路道路事業に関する「不安」や「疑問」「内容がわからない」といったことを抱えながらも「役所には電話しづらい」「訪問しづらい」「担当者が外出中で聞けなかった」といった方の声にお応えするため、地域の皆さまが訪れやすい環境づくりと担当職員が定期的に対応できる環境をつくるために開設した窓口です。週に１回ではございますが、ぜひお気軽にお越しください。

※事業進捗に伴い、相談窓口は平成25年5月頃を目処に鏡が岡地先への移転を予定しています。移転日など具体的な内容については後日、本紙でお知らせします。

【位置図】

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査が終わった方から用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

●お知らせ●　次号は、「万代島ルート線全体の進捗状況紹介」の掲載を予定しています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 43 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課・用地第一課
TEL(025) 244-2159(代表)
〒 950-0912
新潟市中央区南笹口 2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025) 226-3041(直通)
〒 951-8550
新潟市中央区学校町通 1-602-1

2月号の『くりのき通信』に関するアンケート結果報告に引き続き、本号は『相談窓口』に関するアンケート結果をご紹介いたします。

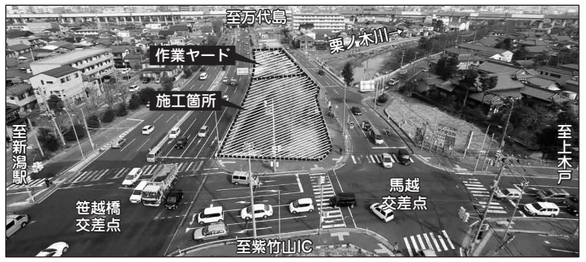
今回のご意見等を参考に、皆さまにとってより親切丁寧できめ細やかな対応ができるよう、窓口業務に努めて参ります。

栗ノ木川付替工事の概要紹介

栗ノ木川付替工事

現在、栗ノ木道路の笹越橋交差点周辺で栗ノ木川の付替工事の準備をしています。

今後、工事の進捗に伴う通行規制、安全対策等についてお知らせして参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



■栗ノ木川付替工事の概要

（目的・内容）

国道７号及び周辺道路の慢性的な交通渋滞の緩和と交通事故削減等を図るため、道路の立体化及び断面再編に伴い、栗ノ木川の付替を行います。

山本橋上流の区間においては、鋼管矢板護岸による付替工事を行います。

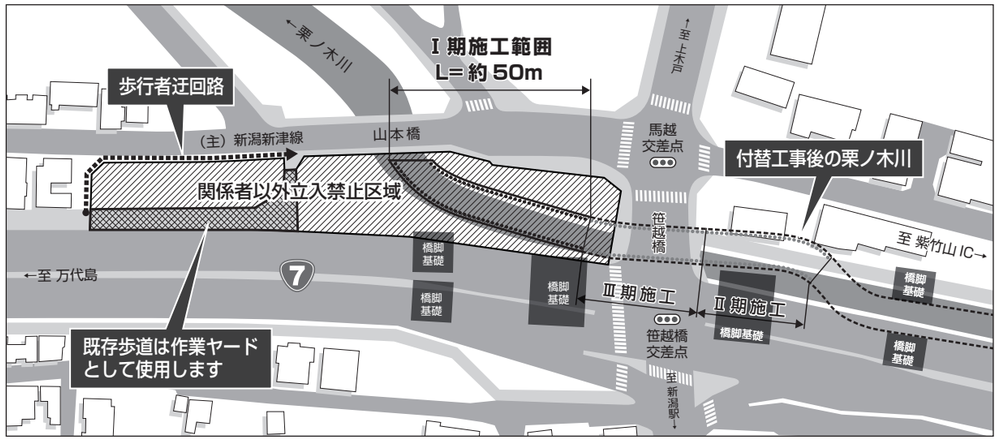
（期間）

山本橋～笹越橋間をⅠ期、笹越橋上流をⅡ期、笹越橋区間をⅢ期として、工事を行う予定です。Ⅰ期施工範囲では平成25年度中の工事完了を予定しています。

（その他）

- ●施工期間中は歩行者・自転車の安全を確保するための各種安全対策を計画しています。
- ●Ⅰ期施工範囲での作業時間帯は午前８時～午後５時を予定しています。夜間の工事は予定していません。

（位置図）



今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

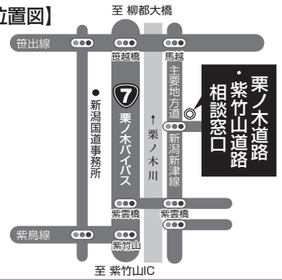
また、事業進捗に伴い、夏頃を目処に相談窓口の移転を予定（鏡が岡地先）しています。移転先・移転日など具体的な内容については後日、本紙でお知らせします。

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中!

【日時】
毎週木曜日
10:00～19:00
（年末年始･祝日は除きます）

【場所】
中央区紫竹1丁目1-23
※夏頃を目処に鏡が岡地先へ移転予定

【位置図】



●お知らせ●　次号は、「栗ノ木道路・紫竹山道路Q&A」の掲載を予定しています。

平成 25 年度の事業予定

栗ノ木道路・紫竹山道路

本事業は、地域を通過する交通と地域に関係ある交通を高架橋と平面道路で分離する「栗ノ木道路」と、紫竹山ICランプ入口交差点の立体整備によって新潟バイパスと「栗ノ木道路」を高架道路で結ぶ「紫竹山道路」を一体的に整備することで、国道7号及び周辺道路の渋滞削減を図るものです。

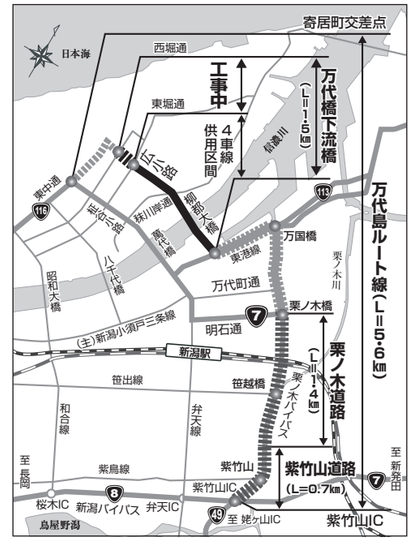
これまでに説明会、測量作業、地質調査、用地及び建物調査、用地買収等を実施してきており、多くの方からご協力いただいています。

今年度は、道路・構造物の設計や用地買収、栗ノ木川の付替工事等を推進する予定です。

■平成25年度の事業計画

事業名	平成25年度当初事業費	事業内容
栗ノ木道路	29.66億円	●道路・構造物設計 ●用地買収推進（栗ノ木橋交差点～（都）網川原線） ●工事推進（栗ノ木川付替工、西馬越～紫竹地区改良工）
紫竹山道路	13 億円	●道路・構造物設計 ●用地買収推進（（都）網川原線～新潟バイパス） ●工事推進（紫竹山地区改良工）
万代橋下流橋	2.7 億円	●道路附属物設計 ●工事推進（道路附属物工、西堀前通～東堀前通舗装工）

■事業個所位置図

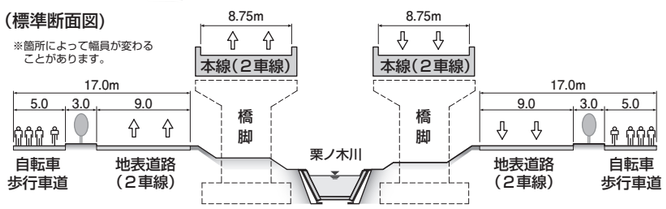


■完成イメージ

※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

（標準断面図）

※箇所によって幅員が変わることがあります。



万代橋下流橋

本事業は、国道7号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を目的とした事業です。

今年度は西堀前通～東堀前通間約２００ｍの舗装工事及び道路付属物工事を完成させ、今年度内に同区間の供用を図る予定です。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 44 号

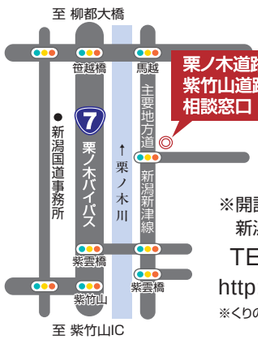
編　集・発　行
お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課･用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

「栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口」開設中!

栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関わる皆さまの疑問や不安を少しでも取り除く手助けとなるよう、事業の進捗状況や道路計画内容についての説明、一般的な用地補償等の相談の場として、「栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口」を開設しています。

今後とも広くコミュニケーションの場としてご活用いただきたいと考えていますので、ぜひ、お気軽にお越しください。

【位置図】



【日時】
毎週木曜日10:00～19:00
（年末年始・祝日は除きます）

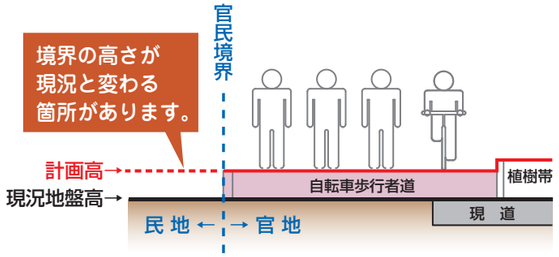
【場所】
新潟市中央区紫竹1丁目1-23
新潟新津線（旧R49号）T字交差点傍
※夏頃を目処に鏡が岡地先へ移転予定

※開設日時以外のご相談やご不明な点は
新潟国道事務所にお問い合わせ下さい。
TEL.(025)244-2159(代)
http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
※くりのき通信のバックナンバーもご覧いただけます。

Q．残地に家を建てたいのですが、気をつける点はありますか？

A．**工事範囲の境界の高さが現況と変わる箇所があります。**相談窓口にて地権者の皆さまに対しましては、当該箇所の現況地盤高と計画高の資料（現時点での設計に基づく）をお出しできます。

■工事範囲の境界の高さが変わる箇所の断面イメージ



※図はあくまでイメージです。特定の場所を示すものではありません。

※個別案件となるため、資料作成に少々お時間がかかる場合がございます。ご了承下さい。
詳細につきましては相談窓口をご利用下さい。

栗ノ木川の工事に際してのお願い

現在の栗ノ木川沿いの樹木は移植又は伐採を予定してます

栗ノ木川沿いの樹木

お知らせ看板

今後の予定は？

栗ノ木川の付替工事に伴い、栗ノ木川沿いにある樹木等の移植又は伐採を予定しています。

また、平成25年1月にも看板を設置してご案内しておりますが、河川区域内の耕作や果樹栽培、私物等の設置、不要物の投棄は法令により禁じられております。今後の工事の際の支障ともなりますので、事前に移動をお願いいたします。

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施しています。

お　知　ら　せ

ここは、新潟県が管理している一級河川栗ノ木川の河川区域であり、国土交通省が施行する「栗ノ木道路」の工事予定地となっています。

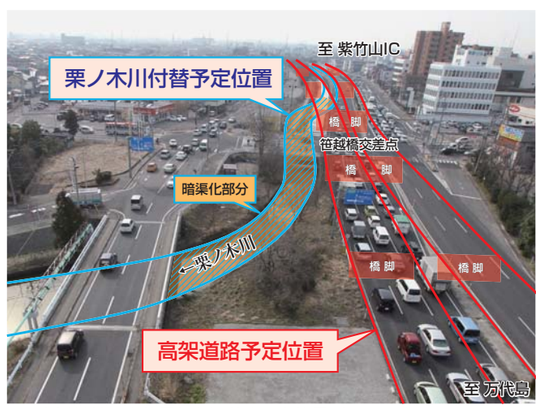
ここでの耕作や果樹栽培、小屋・はしご等の工作物の設置、ゴミ、不要物の投棄は法令により禁じられており、また、「栗ノ木道路」の工事の際の支障ともなりますので、耕作等を中止し、設置した工作物等を撤去してください。

河川管理者：新潟県
栗ノ木道路事業者：国土交通省北陸地方整備局
平成 25 年 1 月

【連絡先】
○栗ノ木川に関すること
新潟県 新潟地域振興局 地域整備部
電話 025-231-8304（庶務課・行政係）

○栗ノ木道路に関すること
北陸地方整備局 新潟国道事務所
電話 025-246-7762（調査課）

お知らせ看板の内容



栗ノ木川付替予定位置と高架道路予定位置（イメージ）

●お知らせ●　次号は、「工事に関する情報発信」の掲載を予定しています。

栗ノ木道路・紫竹山道路工事Q&A

本号は、昨年度に実施しました「くりのき通信アンケート」の結果から、テーマとしてご要望の多かった道路工事に関するQ&Aや、栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口に多数お問い合わせいただいている内容についてご紹介いたします。

今後、工事の進捗に伴う通行規制、安全対策等は本紙でお知らせする予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

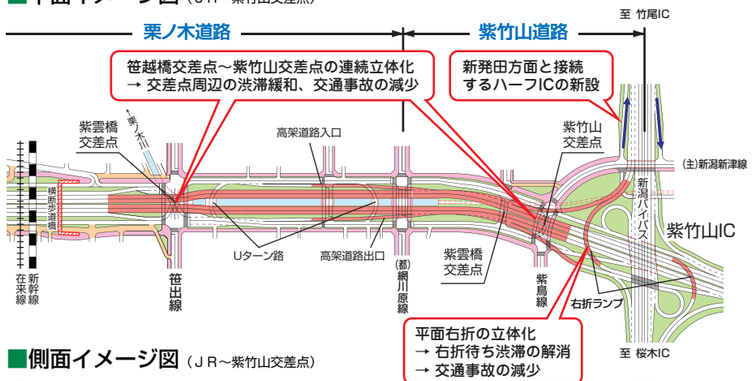
Q．栗ノ木道路・紫竹山道路の整備で、何がどう変わるの？

A．本事業の道路整備により現況と大きく変わるところは、次の３点です。

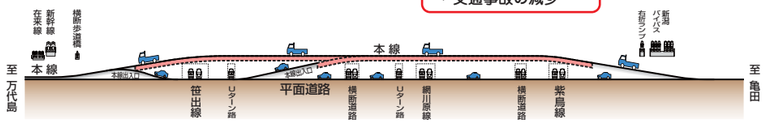
- **笹越橋交差点～紫竹山交差点の連続立体化**
- **亀田方面から新発田方面に向かう右折平面交差の立体化**
- **新潟新津線から竹尾方向へのハーフICの新設**

また、道路整備後は紫竹山ICでの利用形態も変わることになります。
詳しくは下段の「紫竹山IC改良後の利用形態の変化」をご覧ください。

■平面イメージ図（ＪＲ～紫竹山交差点）



■側面イメージ図（ＪＲ～紫竹山交差点）

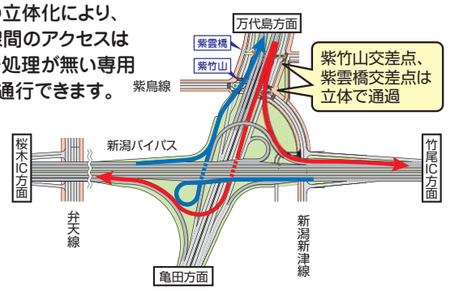


■紫竹山IC改良後の利用形態の変化

国道本線間のアクセス

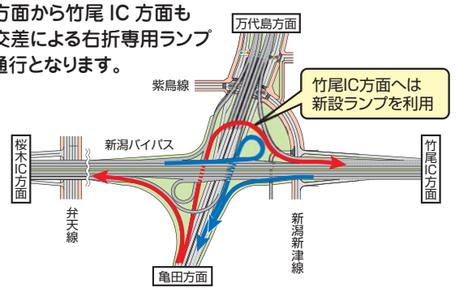
万代島方面（本線）⇔ 新潟バイパス

●交差点の立体化により、国道本線間のアクセスは全て信号処理が無い専用ランプで通行できます。



亀田方面 ⇔ 新潟バイパス

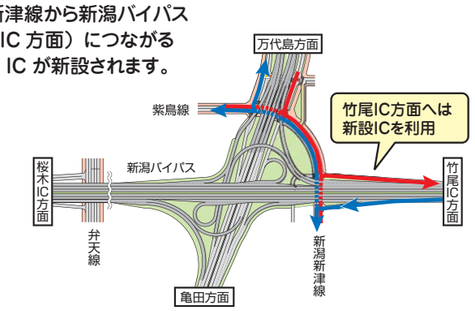
●亀田方面から竹尾 IC 方面も立体交差による右折専用ランプでの通行となります。



地表道路等と国道本線とのアクセス

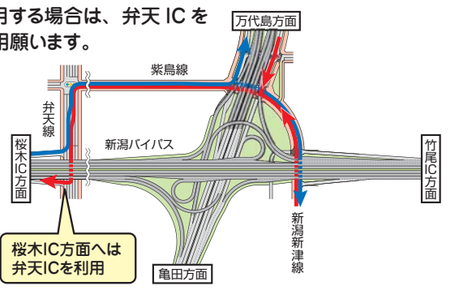
地表道路等 ⇔ 竹尾IC方面

●新潟新津線から新潟バイパス（竹尾 IC 方面）につながるハーフ IC が新設されます。



地表道路等 ⇔ 桜木IC方面

●地表部の紫竹山交差点（地表道路、紫鳥線、新潟新津線）から新潟バイパス桜木 IC 方面を利用する場合は、弁天 IC をご利用願います。



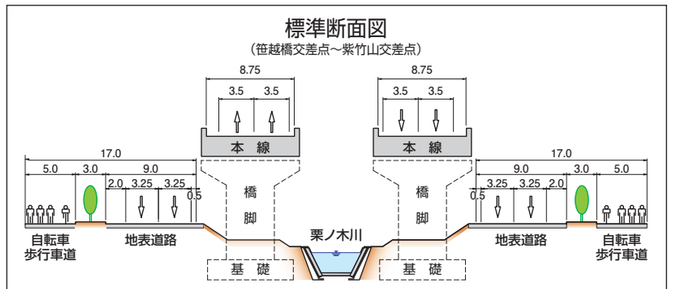
●地表道路等⇔亀田方面の通行は、従来通りの利用形態となります。

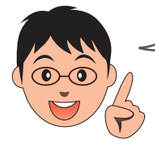
国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 45 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

栗ノ木道路事業の概要と進捗状況

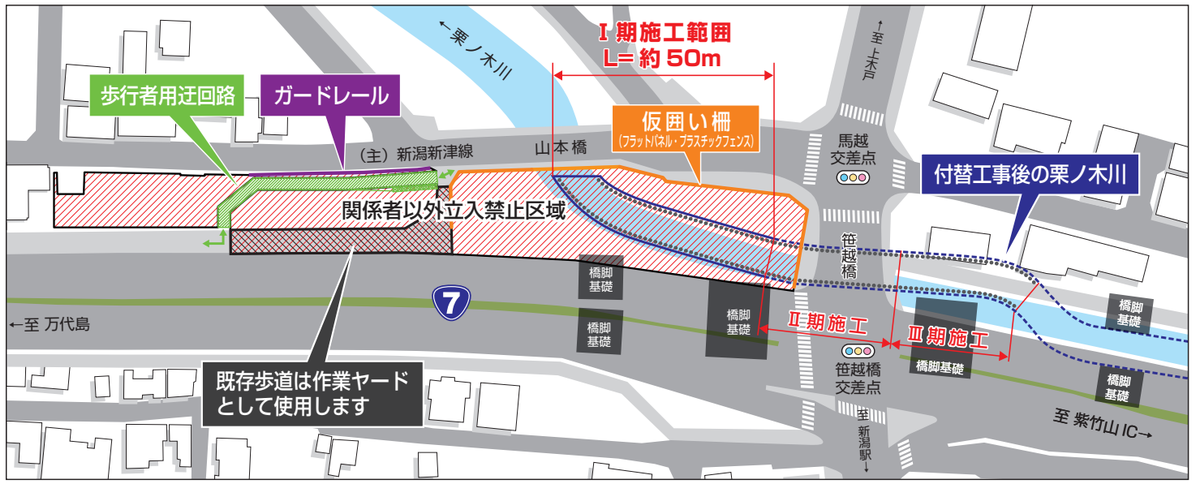
目　　的：国道７号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を目的としています
起点・終点：新潟市中央区 沼垂東～鐙
延　　長：1.4km
幅　　員：66.5m（標準的な幅員）
工事の進捗状況：
＜栗ノ木川付替工事＞
【Ⅰ期施工】山本橋～笹越橋間 (延長 50m) 工事中
【Ⅱ期施工】笹越橋区間
【Ⅲ期施工】笹越橋上流区間
※Ⅱ期施工とⅢ期施工は工事の状況により、順序が変わる場合があります。





現在の計画では、高架道路の橋脚の一部を栗ノ木川河川区域内に整備する予定です。橋脚が川の流れを阻害しないようにするため、下流部に位置する笹越橋交差点付近から川の付替工事を行います。

（工事箇所位置図）

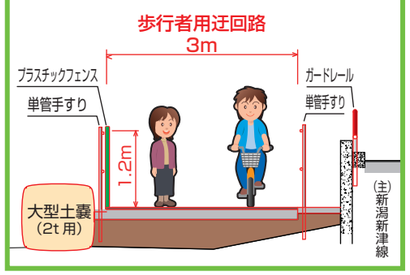


（工事に対するご要望と対策）　※工事説明会（平成 25 年４月）でいただいた主なご意見を掲載しています

歩行者用迂回路について

●自転車も通行できるように幅員を広げてほしい。

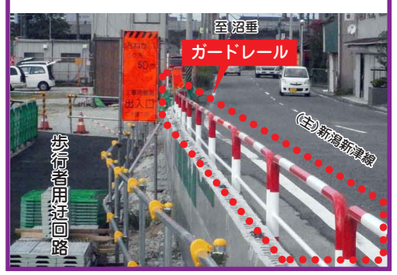
○対策
→歩行者用迂回路の幅員は 1.5m から 3m に広げました。



安全対策について

●歩行者の安全確保のために、ガードレールを設置してほしい。

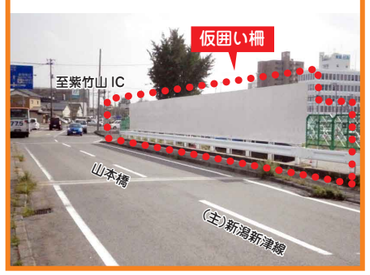
○対策
→ガードレールで歩行者用迂回路と車道を分離することにしました。



仮囲い柵について

●工事中の圧迫感を緩和するために仮囲い柵を設置してほしい。

○対策
→山本橋と笹越橋に仮囲い柵を設置しました。



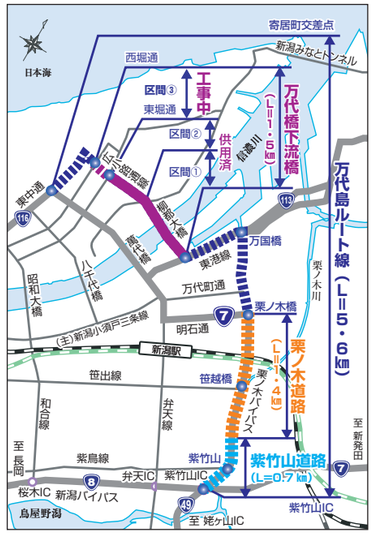
●お知らせ●　次号は、「自転車・歩行者道の空間について」の掲載を予定しています。

万代島ルート線全体の工事進捗状況

平成25年度の事業内容

都市計画道路万代島ルート線では現在、万代橋下流橋（延長 1.5km）と栗ノ木道路（延長 1.4km）、紫竹山道路（延長 0.7km）が事業化されています。

万代橋下流橋事業では平成 24 年度から東堀通～西堀通の約 200m 区間の拡幅工事、栗ノ木道路事業では今年度から笹越橋交差点付近の約 50m 区間で栗ノ木川付替工事を行っています。



■平成 25 年度事業内容

万代橋下流橋（平成５年事業化）
●道路附属物設計
●工事推進
・道路附属物工
・西堀前通～東堀前通舗装工

栗ノ木道路（平成 19 年事業化）
●道路・構造物設計
●用地買収推進
・明石～鐙地区
・沼垂東１丁目～紫竹地区
●工事推進
・栗ノ木川付替工
・西馬越～紫竹地区改良工

紫竹山道路（平成 23 年事業化）
●道路・構造物設計
●用地買収推進（鐙～紫竹山地区）
●工事推進（紫竹山 IC 改良工）

今後の予定は？

本号は、「万代橋下流橋事業」と「栗ノ木道路事業」における工事の概要と進捗状況等についてご紹介します。

栗ノ木道路・紫竹山道路区間は、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。合わせて道路の測量や設計を実施し、一部工事に着手していきます。

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口開設中!

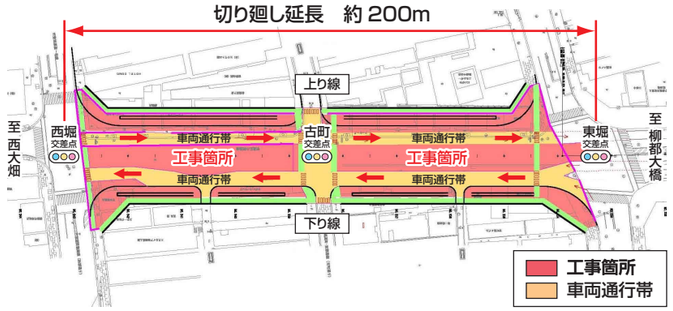
【日時】毎週木曜日
10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場所】新潟市中央区 紫竹1丁目1-23

相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。

万代橋下流橋事業の概要と進捗状況

目　　的：国道７号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を目的としています
起点・終点：新潟市中央区 西堀前通 10 番町～万代島
延長／幅員：1.5km ／橋梁部 41.0m、街路部 35.5m
工事の進捗状況：
【区間①】万代島　～秣川岸通 (延長 0.8km) 平成 14 年５月供用
【区間②】秣川岸通～東堀前通 (延長 0.5km) 平成 20 年３月供用
【区間③】東堀前通～西堀前通 (延長 0.2km)
工事中［平成 25 年度内供用予定］



■市道広小路（東堀前通～西堀前通）の車線切り廻しについて

道路中央部の工事を行うため、9月 10 日に交通を上下線に分離する交通形態に切り廻しました。次回は 10 月中旬、さらに 11 月中旬にも段階的に車両通行帯を変更しますので、ご通行の際は気をつけてお通り下さい。

平成25年９月10日～

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 46 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課・用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550 新潟市中央区学校町通 1-602-1

万代橋下流橋事業の概要

■ 目　　的：国道７号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化

■ 起点・終点：新潟市中央区 西堀前通 10 番町～万代島

■ 延　　長：1.5km

■ 幅　　員：橋梁部 41.0m、街路部 35.5m

■ 進 捗 状 況：

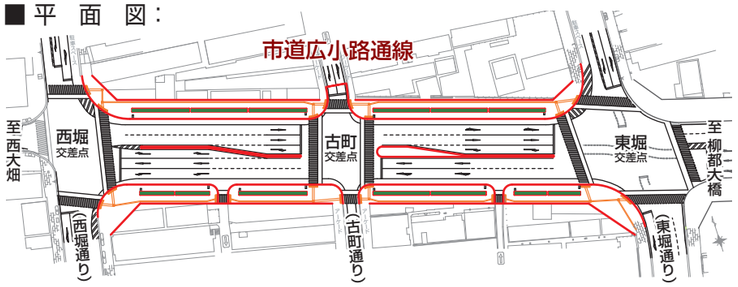
【区間①】萩川岸通～万代島（柳都大橋）（延長 0.8km）
平成 14 年５月開通済

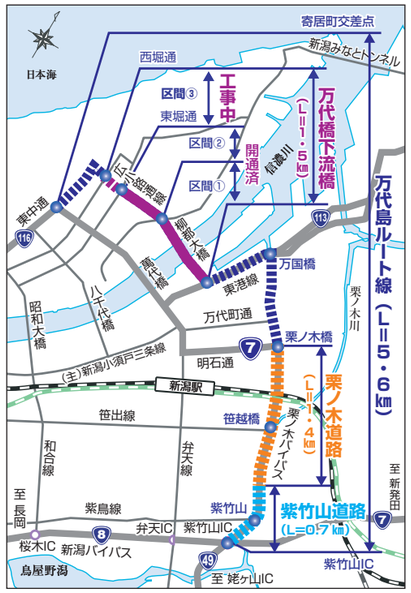
【区間②】東堀前通～萩川岸通 (延長 0.5km)
平成 20 年３月開通済

【区間③】西堀前通～東堀前通 (延長 0.2km)
工事中 [平成 25 年度内開通予定]

柳都大橋

■ 平　面　図：





開通済区間の状況（萩川岸通から西堀通方面を望む）

今後の予定は？

「万代橋下流橋」

西堀前通～東堀前通区間では、次の工事段階となる車線中央部の工事を行うため、11月15日より通行方法が下図のとおり変更となっています。

ご通行の際は現地の案内看板等に従って、気をつけてお通り下さい。今後は、完成となるまで大きな車線の切り替えは行わない予定です。

「栗ノ木道路・紫竹山道路区間」

引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

また、11月5日から周辺の地質調査と下水管調査を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

＜栗ノ木道路設計に伴う各種調査の概要＞

■地質調査（土質ボーリング調査）
期間：平成 25 年 11 月５日～ 12 月 10 日（予定）
場所：笹越橋交差点、馬越交差点周辺の４箇所

■下水管調査（測量作業）
期間：平成 25 年 11 月５日～ 12 月 18 日（予定）
場所：西馬越、笹口３丁目、紫竹２丁目

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中!

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00（年末年始・祝日は除きます）

【場所】新潟市中央区 紫竹1丁目1-23

相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。

●お知らせ●　次号は、「自転車・歩行者道の空間について」の掲載を予定しています。

【特集】万代橋下流橋の開通で期待される効果

効果① 柾谷小路や萬代橋の走行性、安全性が向上

国道７号新潟都心地区を通過する交通が、萬代橋から柳都大橋へと転換し、慢性的な交通渋滞が緩和されることで、走行性や安全性の向上が期待されます。

【柾谷小路の交通状況の変化】

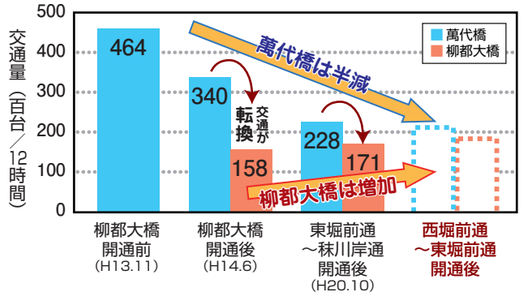
柳都大橋開通前

現在

夕方の混雑時における寄居町→東大通の所要時間が**約5分短縮**されます。
（柳都大橋開通前：約8分→全線開通後：約3分）

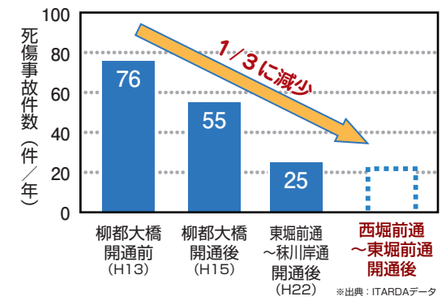
柳都大橋へ交通が転換

【日中の萬代橋と柳都大橋の交通量（12 時間）】



事故発生件数の減少

【寄居町～東大通の年間事故件数】



※出典：ITARDAデータ

効果② 快適な道路空間の創出、新潟のまちづくりを支援

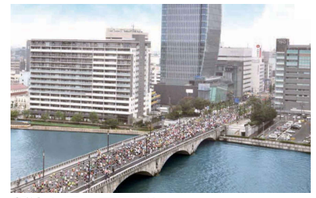
電柱のない幅の広い歩道や自転車の通行空間など、快適な道路空間が創出されます。また、自動車交通が分散されることで、萬代橋や柾谷小路がまちづくりに活用できる多様な場になります。

快適な道路空間の創出

西堀前通～東堀前通の完成イメージ

賑わいのあるまちづくりを支援

新潟まつり（民謡流し）


新潟シティマラソン

交通の転換・分散は、国指定重要文化財である「萬代橋」の負荷軽減にもつながっています。

本号は、平成25年度内に全線開通予定の万代島ルート線の一部である「万代橋下流橋」の開通で期待される効果ついてご紹介します。

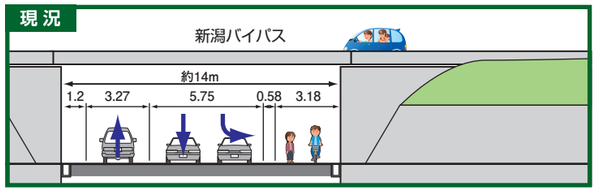
国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 47 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

新潟新津線の歩行者用通路の新設

現在、新潟バイパス（紫竹跨線橋）の下には幅 3m 程度の自転車歩行者道がありますが、通勤・通学時間帯には自転車が３～４台併走するなど、歩行者・自転車が共に安全に通行できる状態とは言えません。また、(仮称)南紫竹 IC の整備により、新潟新津線には接続道路への右折車線を設置する必要があります。

そこで、「歩行者･自転車の安全性向上」と「自動車交通の円滑な通行」を確保するため、新潟バイパスを横断する幅 4m・高さ 2.5m のボックスを新設します。



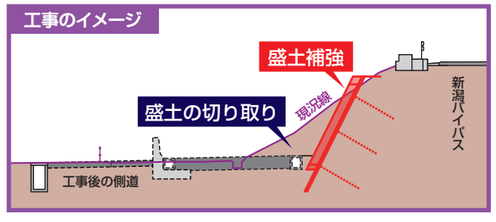
通路は弁天 IC と同じタイプで、工事は新潟バイパスを開削することなく施行する予定です。

弁天ICの状況

工事の状況

平成 25 年 12 月から行っている工事は、新潟新津線から新潟バイパスへの接続道路を設けるスペースを確保するための「盛土補強」と「盛土の切り取り」の工事です。

側道の通行止め等は平成 25 年度中に解除する予定ですが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



工事の状況（新潟新津線から竹尾 IC 方面を望む）

栗ノ木道路･紫竹山道路相談窓口開設中!

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場所】新潟市中央区 紫竹1丁目1-23

相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。事業の進捗に伴い、2月頃、鏡が岡地先に移転する予定です。移転日などの具体的な内容につきましては後日、本紙にてお知らせいたします。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

また、現在栗ノ木川沿いの樹木の伐採を開始しました。対象となる樹木は新潟市で管理している樹木のうち枝枯れ等により移植に向かないもので、移植できるものは、国道49号横越上町交差点付近の用地に仮植えし、その後各事業などでの植栽工事に活用する予定です。

●お知らせ●　次号は、「自転車・歩行者道の空間について」の掲載を予定しています。

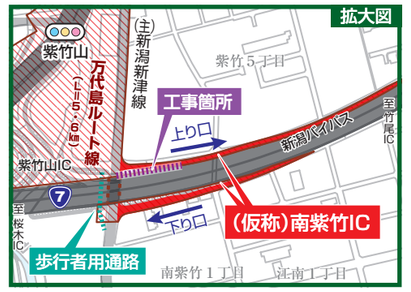
【特集】(仮称)南紫竹インターチェンジの紹介

本号は、国道７号新潟バイパス紫竹山ＩＣの竹尾ＩＣ側（新潟市東区紫竹・南紫竹地先）で「紫竹山道路」の一部として今年度から工事に着手している『(仮称)南紫竹ＩＣ』の概要についてご紹介します。

(仮称)南紫竹ICとは？

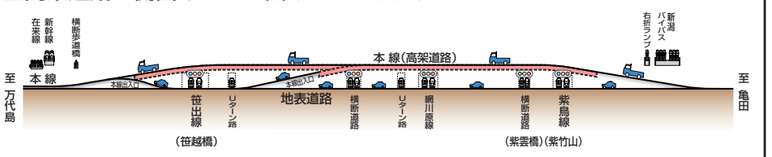
新潟バイパスと主要地方道新潟新津線を接続するために新設する（仮称）南紫竹 IC は、栗ノ木道路・紫竹山道路や弁天 IC とともに「万代島ルート線」の一部に指定されているハーフ IC です。

これは、新潟バイパスに接続する高架道路（栗ノ木道路・紫竹山道路）が完成した場合、地表道路の紫竹山交差点（紫鳥線・新潟新津線）からは紫竹山 IC を利用できなくなるため、その出入りを確保する役割を担います。



紫竹山 IC に集中する自動車交通を東西２つのハーフ IC〔西側の弁天 IC・東側の（仮称）南紫竹 IC〕によって、分散する効果も期待されています。

■高架道路の側面イメージ図（ＪＲ～紫竹山交差点）



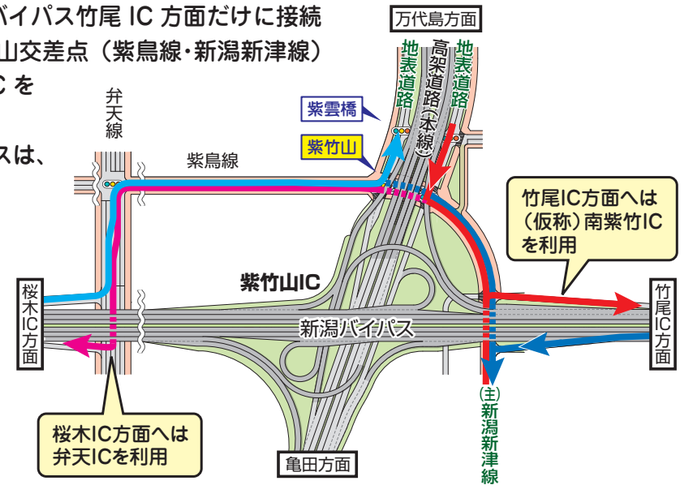
紫竹山IC改良後の利用形態の変化

●(仮称）南紫竹 IC は、新潟新津線から新潟バイパス竹尾 IC 方面だけに接続するハーフ IC であるため、地表道路の紫竹山交差点（紫鳥線･新潟新津線）から桜木 IC 方面への接続は、既存の弁天 IC をご利用いただくことになります。

●高架道路（本線）⇔新潟バイパス･亀田バイパスは、信号の影響を受けずに移動できます。

凡例　【竹尾 IC 方面をご利用の場合】
- 紫竹山交差点・新潟新津線→竹尾 IC 方面
- 竹尾 IC 方面→紫竹山交差点・新潟新津線

【桜木 IC 方面をご利用の場合】
- 紫竹山交差点・新潟新津線→桜木 IC 方面
- 桜木 IC 方面→紫竹山交差点・新潟新津線



国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 48 号

編集･発行･お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課･用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口が移転します！

事業の進捗に伴い、「相談窓口」が紫竹一丁目から、鏡が岡地先へ移転します。３月６日（木）から、移転先での開設となりますので、お間違いのないようにお願いします。

「相談窓口」は、栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関わる皆様の疑問や不安を少しでも取り除く手助けとなるよう、開設した窓口です。お気軽にお越しください。

【開設日時】毎週木曜日　10:00～19:00
（年末年始、祝日は除きます）

相談窓口での説明状況

※写真撮影についてはご本人の了承をとっています

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信
かわら版
号　外

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

【位置図】

今後の予定

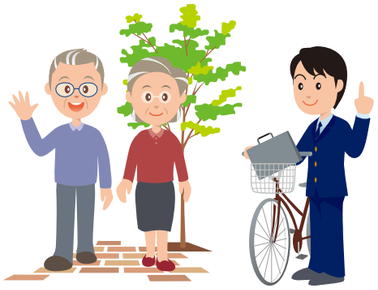
栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。また、新潟新津線沿線の自治会の皆さまを対象とした栗ノ木道路の工事説明会を３月中旬頃に開催する予定です。なお、現在実施中の栗ノ木川沿いの樹木の伐採工事は３月中に完了する予定です。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

歩道部（歩道・自転車道・植樹帯）の整備計画について

栗ノ木道路・紫竹山道路においては、歩行者・自転車の空間としてる歩道部（歩道・自転車道・植樹帯）の整備が計画されています。

近年では、自転車利用の促進や自転車対歩行者事故の増加など、自転車交通を取り巻く状況が変化し、『自転車は車両であり、車道を通行する』という原則のもと、道路整備を行う必要があります。

現在、歩行者・自転車双方の安全性ならびに快適性の確保を目的として、歩道部の通行空間の検討を行っています。



歩道部の検討は、都市計画決定された道路幅員内での検討のため、道路全体の幅が変わることはありません。計画案が固まりましたら、本紙にてご紹介致します。

自転車通行空間の整備例

自転車道：道路に車道から縁石線・柵等の工作物により物理的に分離された自転車専用の走行空間を設け、自転車交通と自動車交通、歩行者通行との分離を図ったものです。自転車道のある道路では、原則として自転車は自転車道しか通行できません。

自転車レーン：自転車が安全に通行できるよう、車道の端において十分な幅員と平坦性を確保したものです。新潟市内では目印として青く帯状に着色してあります。この内、路面に「自転車専用」と表示されているものは「自転車専用通行帯」といって、この規制がある区間では、原則として自転車はこの部分しか通行できません。

＜自転車道＞（国道７号万代橋下流橋など）

＜自転車レーン＞ ※既存の道路空間を活用

【自転車専用通行帯】（交通規制あり）（市道小島下所島線）

【自転車通行帯（幅広路肩）】（交通規制なし）（笹出線・紫鳥線など）

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中!

【位置図】

事業の進捗に伴い、3月6日（木）に「相談窓口」が鏡が岡に移転しました。

【開設日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日は除きます）

※相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。
※開設日時以外のご相談やご不明な点は新潟国道事務所にお問い合わせ下さい。

TEL.（025）244-2159（代）

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

また、栗ノ木川沿いの樹木の伐採が終了しました。新潟市で管理している樹木のうち移植できるものは、国道49号横越上町交差点付近の用地に仮植えし、その後各事業などでの植栽工事に活用する予定です。

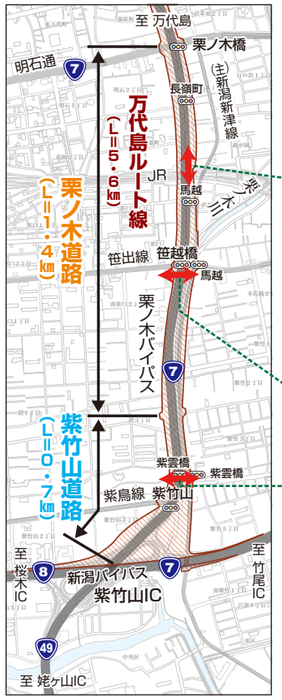
●お知らせ●　次号は、「平成26年度の事業予定」の掲載を予定しています。

【特集】自転車・歩行者空間について

近年、環境問題や健康意識の高まりなどにより、経済的で地球環境の負荷低減に効果が期待できる自転車の利用が見直されています。

そこで、本号は、栗ノ木道路・紫竹山道路事業で計画されている自転車・歩行者空間についてご紹介します。

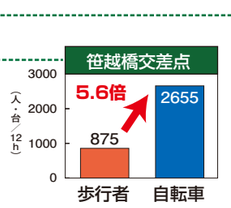
現況の歩行者と自転車の交通状況

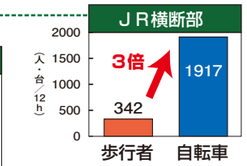


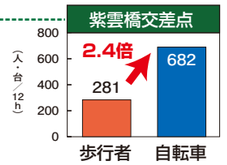
●自転車の縦断交通量
ＪＲ横断部で約 1900 台（歩行者の約５倍以上）。
※柾谷小路の横断交通量よりも多い。
ピークは朝８時台で 310 台。

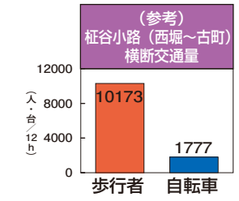
●自転車の横断交通量
笹越橋交差点で約 2600 台（歩行者の約３倍）。
紫雲橋交差点で約 700 台（歩行者の約２倍以上）。

●栗ノ木道路・紫竹山道路事業区間は、自転車の交通量が多いのが特徴。









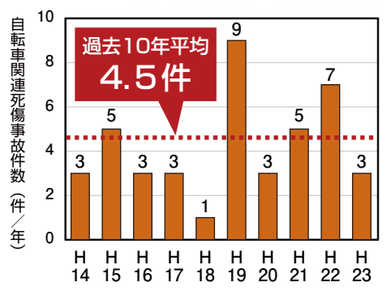
データ：H23 調査による
（紫雲橋交差点のみ H20 調査）

事故発生状況

●新潟市全体の自転車に関連する事故は、平成 19 年（985 件）をピークに減少傾向にありますが、平成 24 年は２名の方が亡くなられています。

●国道７号栗ノ木バイパスでは、過去 10 年平均で 4.5 件／年の事故が発生しています。

＜国道７号 栗ノ木バイパス＞
（栗ノ木橋交差点～紫竹山交差点）



出典：ITARDA（H14 ～ H23）

道路交通法の改正

●全国でも自転車関連事故が問題となっており、自転車の安全確保と事故削減のため、道路交通法の改正が行われています。

＜道路交通法の改正＞

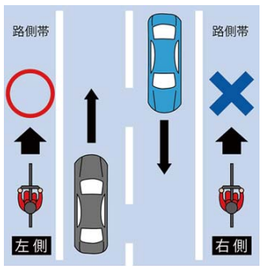
（H20. 6. 1 施行）
●普通自転車の歩道通行可能要件の明確化
●乗用車ヘルメット着用努力義務の導入など

（H23. 9. 12 施行）
●自転車道・歩道で自転車を一方通行する規制標識の新設

（H25. 12. 1 施行）
●自転車の検査等に関する規定の新設
●軽車両の路側帯通行に関する規定の整備

自転車は「車両」の一種です。

歩道と車道の区別があるところでは、車道通行が原則で、車道の左端に沿って通行しなければなりません。



出典：新潟市ホームページ

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 49 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

平成 25 年度の工事報告

1 栗ノ木川沿いの樹木撤去

笹越橋から紫雲橋間の栗ノ木川沿いに植えられていた樹木を３月末までに撤去しました。撤去した樹木のうち、生育状態の良いツツジなどは、新潟市内の公園等に移植し、有効活用を図っています。

樹木撤去前

樹木撤去後（現況）

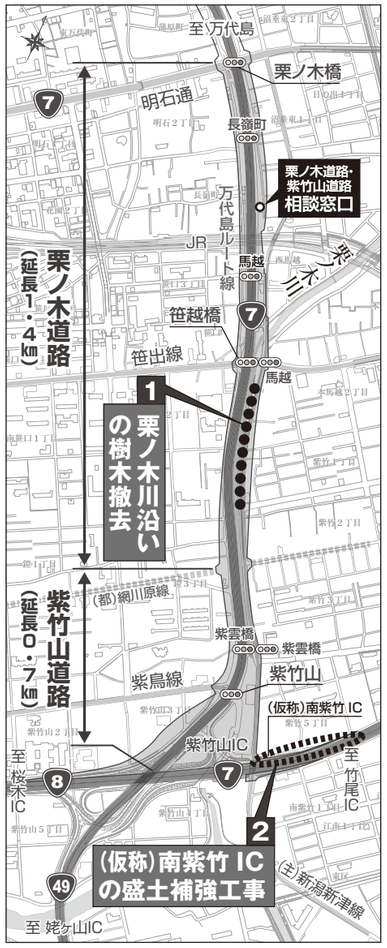
2 （仮称）南紫竹ICの盛土補強工事

くりのき通信第 48 号で紹介しました主要地方道新潟新津線から新潟バイパス（竹尾 IC 方面）への接続道路（ランプ）を設置するための工事が 3 月末に完了し、側道の通行止めを解除しました。

今後、接続道路を設置する工事を行っていきます。

工事箇所に設置されているロープより新潟バイパス側は危険ですので、立ち入らないよう、お願いいたします。

工事完了後（現況）



栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口の移転

事業の進捗に伴い、３月６日に「相談窓口」が「鏡が岡」に移転しました。この相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。ぜひご利用ください。

【開設日時】
毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場所】新潟市中央区 鏡が岡（右上図参照）

移転後の相談窓口

地質調査実施のお知らせ

■地質調査（ボーリング調査）
期　　間：平成 26 年５月末～７月末（予定）
場　　所：笹越橋付近～紫竹山 IC、
　　紫竹山 IC 周辺
調査会社：株式会社キタック
※機器類の騒音の発生は最小限に抑える予定です。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

工事については２～３頁目に掲載しましたので、ご覧ください。

また、５月末から道路設計に伴う周辺の地質調査を予定しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

●お知らせ●　次号は、「JR 工事に伴う車線規制のご案内」の掲載を予定しています。

平成26年度の事業予定

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 50 号

栗ノ木道路・紫竹山道路

本事業は、地域を通過する交通と地域に関係ある交通を、高架道路と地表道路に分離することで、国道7号及び周辺道路の交通渋滞緩和や交通事故の削減を図るものです。

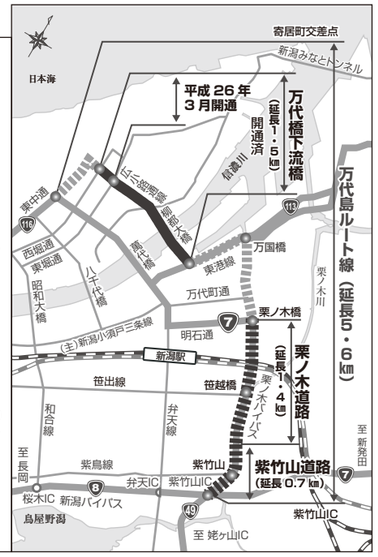
今年度は引き続き栗ノ木川の付替工事を進めるほか、主要地方道新潟新津線や紫竹山IC周辺の改良工事を推進していきます。

■平成26年度の事業計画

栗ノ木道路（平成 19 年度事業化）
事 業 費：28.5 億円
事業内容：
●道路・構造物設計
●用地買収推進
（明石～鐙地区、西馬越～紫竹地区）
●工事推進
（栗ノ木川付替工、西馬越～紫竹地区改良工）

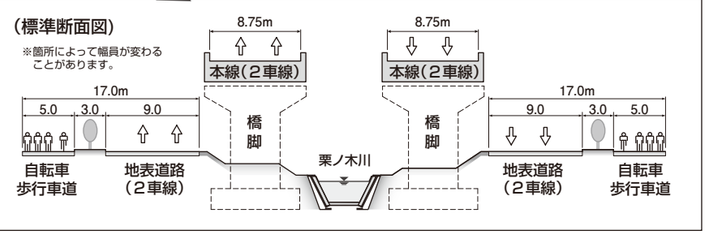
紫竹山道路（平成 23 年度事業化）
事 業 費：10.8 億円
事業内容：
●道路・構造物設計
●用地買収推進（鐙～紫竹山地区）
●工事推進
（紫竹地区改良工、紫竹山 IC 改良工）

万代橋下流橋（平成５年度事業化）
事 業 費：0.1 億円
事業内容：
●事業損失調査



■完成イメージ

<栗ノ木道路> ※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。



<紫竹山道路> ※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

万代橋下流橋

本事業は、国道7号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を目的とした事業です。

平成26年3月28日に西堀通～東堀通間約２００ｍの４車線化工事が完了し、万代橋下流橋事業１・５ｋｍが全線開通しました。

<万代橋下流橋>
西堀通～東堀通区間の開通状況

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1-602-1

平成 26 年度の工事の状況と予定

５月現在は、笹越橋周辺での栗ノ木川付替工事を行っています。

今後は、主要地方道新潟新津線や紫竹山 IC 周辺での工事に着手していきます。

位置	工事名	施工業者
①	栗ノ木道路　栗ノ木川付替工事	株式会社皆川組
②	栗ノ木道路　本馬越舗装工事	本間道路株式会社
	栗ノ木道路　栗ノ木川付替その２工事	株式会社坂詰組
	栗ノ木道路　栗ノ木川付替その３工事	株式会社本間組
	栗ノ木道路　地表道路改良工事	株式会社テックアサヒ
③	紫竹山道路　紫竹山ランプ橋下部工事	株式会社小林組
	紫竹山道路　紫竹山ＩＣ改良工事	株式会社新潟藤田組
	紫竹山道路　紫竹山ＩＣ改良その２工事	株式会社廣瀬

＜工事箇所位置図＞

① 栗ノ木川の付替工事に着手（4月～）

４月から山本橋（主要地方道新潟新津線）から笹越橋間の栗ノ木川付替工事を開始しました。

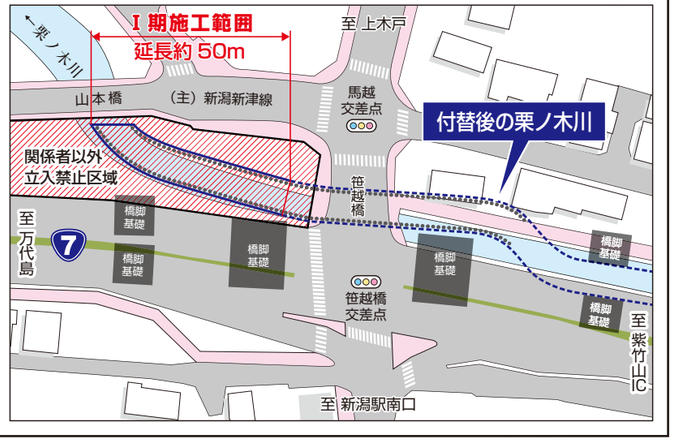
この工事は、現在の笹越橋周辺の栗ノ木川の上を道路として利用するため、護岸に沿って基礎となる杭（鋼管矢板）を打ち込み、コンクリートのふたをかけるものです。

山本橋～笹越橋間をⅠ期、笹越橋から上流をⅡ期として工事を行う予定で、今年度はⅠ期施工範囲の工事完了を予定しています。

◆工事中の油の検出について◆

４月 16 日に杭（鋼管矢板）の打ち込みを行ったところ、地中から油分が検出されました。この油分は 50 年前の新潟地震の際に下流側の製油所から流出した原油が栗ノ木川に流入した可能性が考えられます。関係機関と協議のうえ、河川への流出防止対策、臭気対策等を十分行い、細心の注意をはらいながら、工事を進めていきます。なお、消防本部により引火性のないことが確認されています。

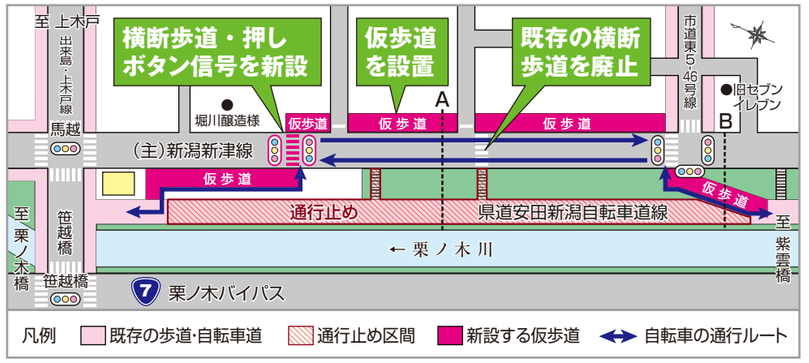
＜工事箇所位置図＞



杭（鋼管矢板）の打ち込み工事

② 新潟新津線の切替工事に着手（6月～）

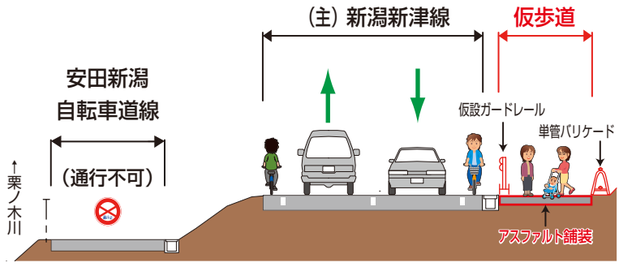
歩行者・自転車道の通行方法が変わります



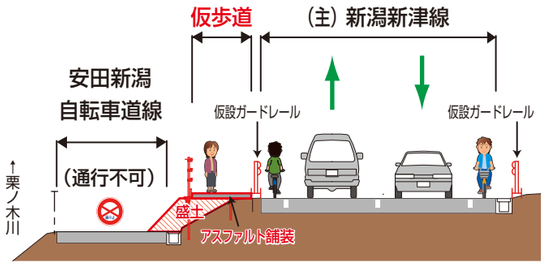
６月から主要地方道新潟新津線の交通を切り替えるための工事を開始します。

工事に伴い、県道安田新潟自転車道線の一部区間が通行止めとなりますので、12 月下旬までの間は現場の案内看板に従い、左図および下図のとおり歩行者は仮歩道、自転車は路肩を通行して下さい。

＜民地側に仮歩道がある場合（A 断面）＞

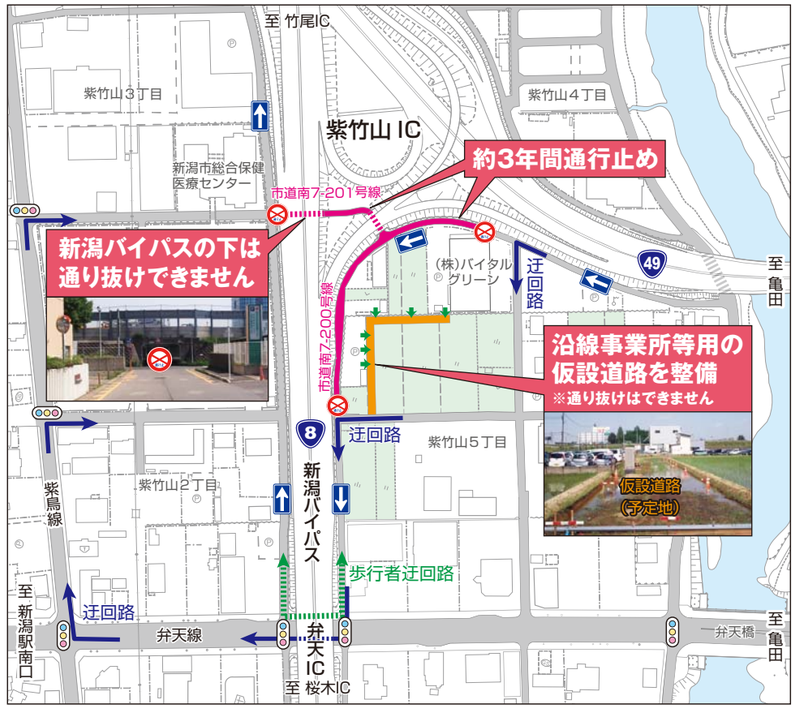


＜栗ノ木川側に仮歩道がある場合（B 断面）＞



③ 紫竹山 IC の改良工事に着手（7月～）

新潟バイパスを横断する市道と紫竹山 IC の側道の一部が通行止になります



紫竹山 IC のうち、亀田方面から桜木 IC 方面に向かう接続道路（ランプ）の改良工事を行います。

工事に伴い、左図に示す区間が通行止めとなります。迂回路をご利用願います。期間は約 3 年間の予定です。長期間の通行規制となりご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

通行止めになる紫竹山 IC の側道
（(株) バイタルグリーン前）

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 51 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

工事状況のお知らせ

今年度の栗ノ木道路・紫竹山道路事業では、４月から栗ノ木川付替工事、６月から主要地方道新潟新津線の付替工事、７月から紫竹山ICの改良工事に着手しています。

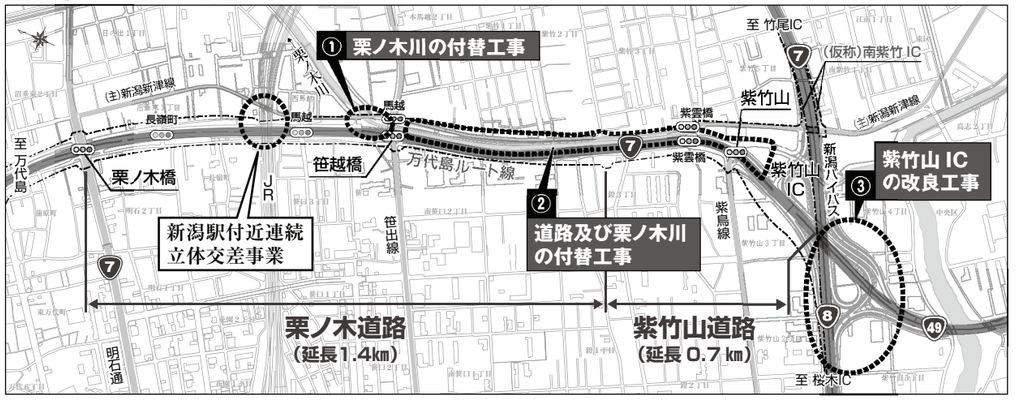
さらに、８月からはＪＲ交差部周辺で新潟駅付近連続立体交差事業（事業主体＝新潟市）に伴う工事が予定されています。

本号では、これら工事の現在の状況や工事に伴う通行規制等について、ご紹介いたします。

■工事名称・施工業者一覧

位置	工事名称		施工業者
①	栗ノ木道路	栗ノ木川付替工事	株式会社皆川組
②	栗ノ木道路	本馬越舗装工事	本間道路株式会社
	〃	栗ノ木川付替その２工事	株式会社坂詰組
	〃	栗ノ木川付替その３工事	株式会社本間組
	〃	地表道路改良工事	株式会社テックアサヒ
③	紫竹山道路	紫竹山ランプ橋下部工事	株式会社小林組
	〃	紫竹山ＩＣ改良工事	株式会社新潟藤田組
	〃	紫竹山ＩＣ改良その２工事	株式会社廣瀬
	信越線新潟駅付近高架化笹口工区２（旧白新上り線桁撤去）		鹿島・西松・福田 共同企業体

■工事実施箇所位置図



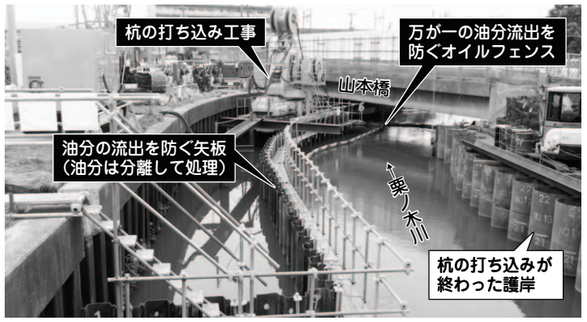
■定点観測（７月 10 日撮影・工事進捗状況）

① 栗ノ木川の付替工事

笹越橋付近の栗ノ木川の上にコンクリートのふたをかけ、道路とするための工事です。４月に行った杭（鋼管矢板）の打ち込み工事中に、地中から油分が検出されたことを受け、河川付替を予定している山本橋から紫雲橋の間で地中の油分の分布状況を調べました。

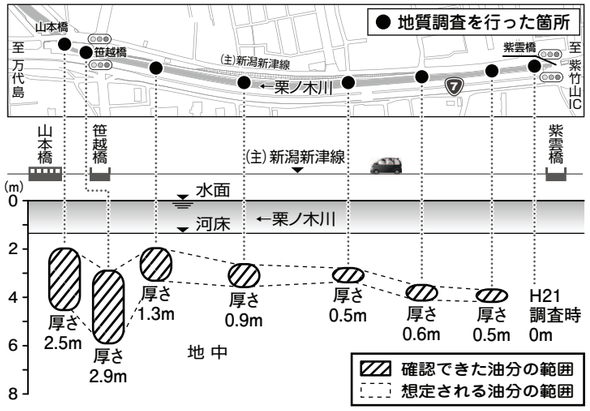
その結果、工事区間のほぼ全域にわたって川底に溜まった粘土層の中に油分が含まれていることを確認しました。山本橋～笹越橋の間では油分が混入する層が最大で 2.9m ですが、上流側に行くにつれて薄くなり、紫雲橋下流では厚さ 0.5m でした。

関係機関と協議し、油分流出防止対策を施した上で、現在は順調に工事を行っています。引き続き細心の注意をはらいながら、工事を進めていきます。



油分の流出防止対策状況（７月 10 日撮影）

■栗ノ木川地中部 油分分布状況イメージ図



② 道路及び栗ノ木川の付替工事

栗ノ木川を付替える準備として、栗ノ木バイパス笹越橋交差点から紫竹山 IC 間で、７月下旬まで中央分離帯の撤去工事を行っています。この工事に伴い、夜間は上下線とも中央分離帯側の１車線に通行規制がかかります。

また、６月に開始した主要地方道新潟新津線の付替工事は自転車道やフェンスの撤去が完了し、今後、栗ノ木川の仮水路を作るための矢板打込みを行います。

(主) 新潟新津線の付替工事の状況（７月 21 日撮影）

③ 紫竹山ICの改良工事

紫竹山ＩＣの、亀田方面から桜木ＩＣ方面に向かう接続道路（ランプ）の改良工事を７月から行っています。工事に伴い、周辺市道の一部が通行止めとなるため、現地の案内に従い、迂回をお願いします。

また、万代島方面から桜木ＩＣ方面に向かう接続道路の橋梁工事を着手しています。

紫竹山 IC 改良工事の状況（７月 21 日撮影）

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただくほか、５月末から道路設計に伴う周辺の地質調査を実施しています。

工事箇所付近を通行する際は、現地の誘導員や案内看板に従い余裕を持った車線変更をお願いすると共に、工事へのご理解とご協力をお願いいたします。

関連事業：新潟駅付近連続立体交差事業

新潟駅付近のＪＲ在来線高架化に向け、線路橋（旧白新上り線桁）を撤去します。主要地方道新潟新津線や側道部では７月中旬まで工事が行われました。

栗ノ木バイパスでは８月上旬から 11 月下旬にかけて通行規制を伴う工事を予定しています。右図のように終日通行規制を行いますが、昼間は片側２車線、夜間は片側１車線を確保します。

■通行規制予定表

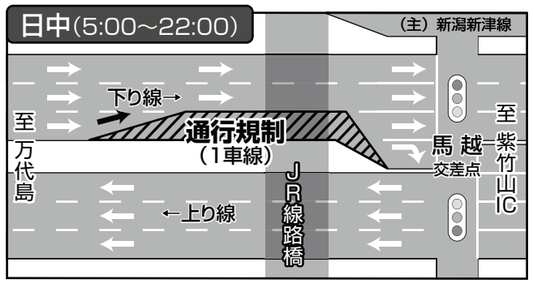
		8月 上旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬	10月 上旬	10月 中旬	10月 下旬	11月 上旬	11月 中旬	11月 下旬
栗ノ木バイパス	下り線 紫竹山IC方面行き	→	中央分離帯撤去（馬越交差点周辺）										
						線路橋撤去							
	上り線 万代島方面行き	→	中央分離帯撤去（馬越交差点周辺）										
											線路橋撤去		

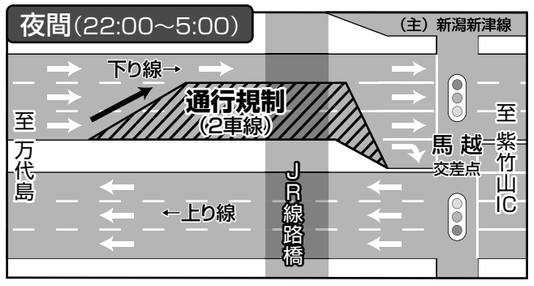
通行規制に伴い、工事箇所付近では渋滞が予想されますので、迂回のご協力と誘導員・工事案内看板に従い、余裕を持った車線変更をお願いいたします。

詳しくはこちら

新潟市 新潟駅周辺整備事務所
TEL.(025)245-1266
ホームページは 新潟駅周辺整備 で 検索

■通行規制の一例





※10月下旬から日中・夜間とも通行規制区間が上下線反転します。

●お知らせ●　次号も、工事の進捗状況を中心にお伝えする予定です。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 くりのき通信 かわら版

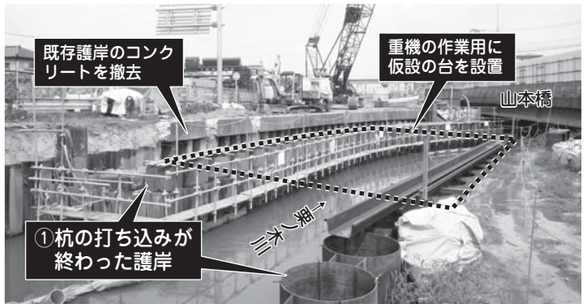
第 52 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

1 栗ノ木川の付替工事

①笹越橋下流部では、4月から行っている杭（鋼管矢板）の打ち込み工事を進めています。今後、川の上に重機が作業するための仮設の台を設置し、引き続き工事を行っていきます。なお、工事中に検出された地中の油分は適切に処理しており、河川への流出は見られません。

②笹越橋上流部では、８月から仮水路を作るための矢板打ち込み工事を行っています。今後、仮水路内の掘削を行います。



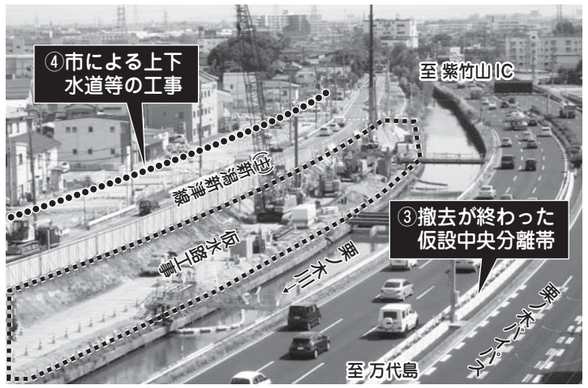
笹越橋下流部の栗ノ木川付替工事の状況（8月19日撮影）

笹越橋上流部の栗ノ木川付替工事の状況（8月19日撮影）

2 道路の付替工事

③栗ノ木バイパスでは、栗ノ木川付替えの準備として中央分離帯撤去工事を行っています（一部完了）。

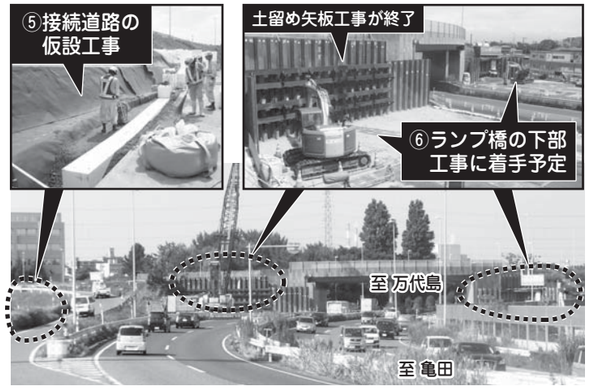
④主要地方道新潟新津線では、上下水道や電柱の移設工事を行っており、今後、暫定歩道の工事を行います。



(主) 新潟新津線と栗ノ木川の付替工事の状況（8月7撮影）

3 紫竹山ICの改良工事

紫竹山ＩＣでは、⑤接続道路（ランプ）の仮設工事と⑥ランプ橋の新設工事を行っています。⑤接続道路の仮設工事では、周辺市道の一部が通行止めとなっているため、現地の案内に従い、迂回をお願いします。



紫竹山 IC 改良工事の状況（8月18・19日撮影）

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山３丁目・鐙３丁目で埋蔵文化財の試掘調査を行っており、現在までのところ、遺跡等は発見されていません。

この他、９月から工事に向けた準備を進めていく予定です。引き続き工事へのご理解とご協力をお願いいたします。

■定点観測（8月22日撮影・工事進捗状況）

●お知らせ●　次号も、工事の進捗状況を中心にお伝えする予定です。

工事状況のお知らせ

今年度の栗ノ木道路・紫竹山道路事業では、4月から栗ノ木川付替工事、6月から主要地方道新潟新津線の付替工事、7月から紫竹山ICの改良工事に着手しています。

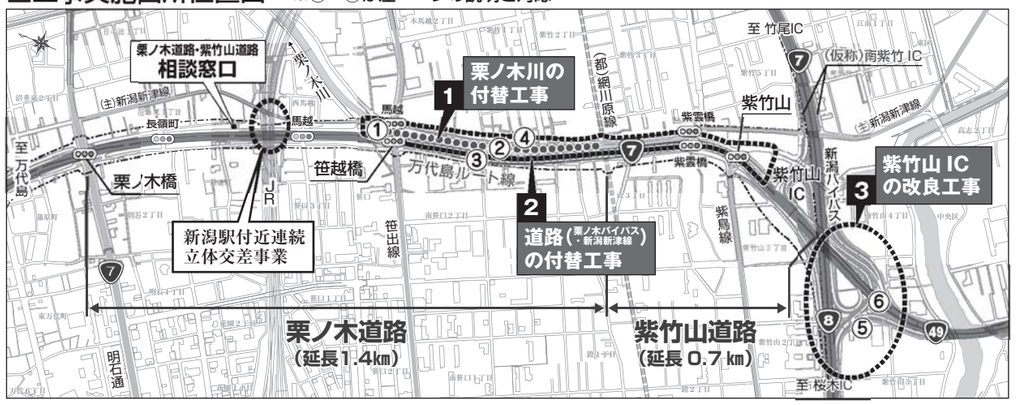
さらに、8月からはJR交差部周辺で新潟駅付近連続立体交差事業（事業主体＝新潟市）に伴う工事が始まっています。

本号では、これら工事の現在の状況等について、ご紹介いたします。

■工事名称・施工業者一覧

位置	工事名称		施工業者
1	栗ノ木道路	栗ノ木川付替工事	株式会社皆川組
	〃	栗ノ木川付替その２工事	株式会社坂詰組
	〃	栗ノ木川付替その３工事	株式会社本間組
2	栗ノ木道路	本馬越舗装工事	本間道路株式会社
	〃	地表道路改良工事	株式会社テックアサヒ
3	紫竹山道路	紫竹山ランプ橋下部工事	株式会社小林組
	〃	紫竹山ＩＣ改良工事	株式会社新潟藤田組
	〃	紫竹山ＩＣ改良その２工事	株式会社廣瀬
	信越線新潟駅付近高架化笹口工区２（旧白新上り線桁撤去）		鹿島・西松・福田共同企業体

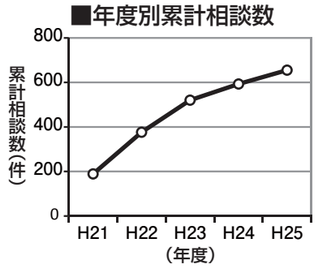
■工事実施箇所位置図　※①～⑤は左ページの説明と対応



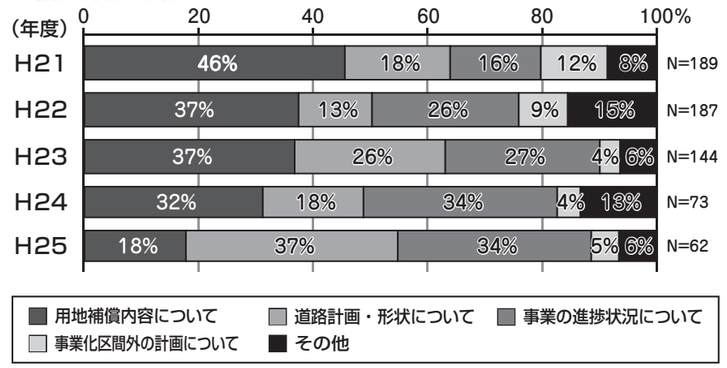
栗ノ木道路 紫竹山道路 相談窓口が開設から5年

相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的とした施設です。平成 21 年５月の開設から平成 25 年度までに計 240 日運営しており、延べ 655 件の相談がありました。引き続き、お気軽にご利用ください。

■年度別累計相談数



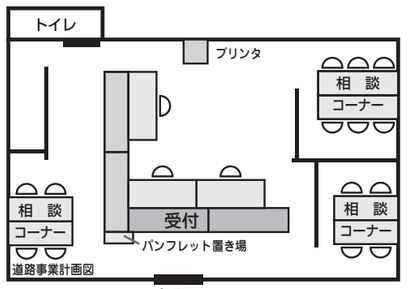
■相談内容の内訳



【開設日時】毎週木曜日 10:00～19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場　所】新潟市中央区 鏡が岡（上図参照）

【相談窓口見取り図】



事業の進展に伴い「用地補償」から、「道路計画」や「事業進捗」に関する相談の割合が増えています。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 53 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

工事状況のお知らせ

今年度の栗ノ木道路・紫竹山道路事業では、「紫竹山ICの改良工事」、「栗ノ木川付替工事」、「主要地方道新潟新津線の付替工事」と大きく分けて3種類の工事を行っています。

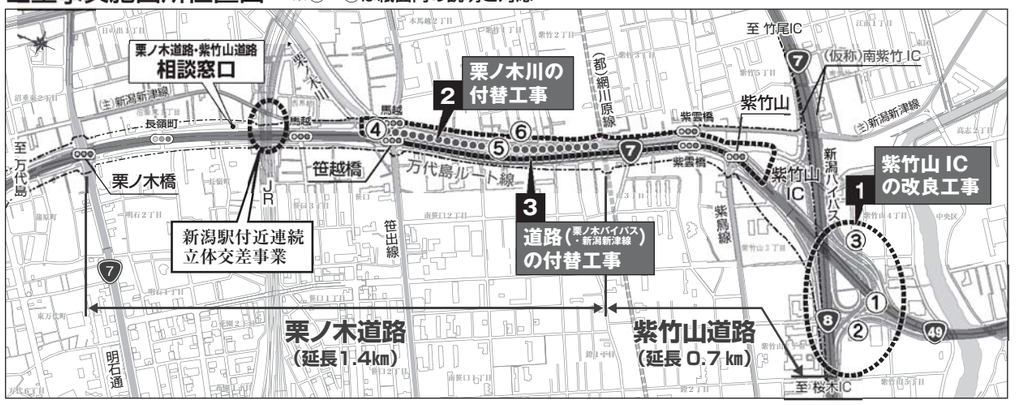
さらに、JR交差部周辺では「新潟駅付近連続立体交差事業」（事業主体＝新潟市）に伴う工事が行われています。

本号では、事業の現在の状況等について、ご紹介いたします。

■工事名称・施工業者一覧

位置	工事名称		施工業者
1	紫竹山道路	紫竹山ランプ橋下部工事	株式会社小林組
	〃	紫竹山ＩＣ改良工事	株式会社新潟藤田組
	〃	紫竹山ＩＣ改良その２工事	株式会社廣瀬
2	栗ノ木道路	栗ノ木川付替工事	株式会社皆川組
	〃	栗ノ木川付替その２工事	株式会社坂詰組
	〃	栗ノ木川付替その３工事	株式会社本間組
3	栗ノ木道路	本馬越舗装工事	本間道路株式会社
	〃	地表道路改良工事	株式会社テックアサヒ
	信越線新潟駅付近高架化笹口工区２（旧白新上り線桁撤去）		鹿島・西松・福田 共同企業体

■工事実施箇所位置図　※①～⑥は紙面内の説明と対応



1 紫竹山ICの改良工事

紫竹山ＩＣでは、栗ノ木道路本線（高架道路）と新潟バイパスを結ぶ接続道路（ランプ）を改良するため、ランプ橋の工事①と、亀田バイパスとの接続道路の工事②・③を行っています。

紫竹山 IC 改良工事の状況（9 月 26 日撮影）

※紫竹山ＩＣ周辺の市道の通行止め区間では、現地の案内に従い、迂回をお願いします。

栗ノ木道路・紫竹山道路相談窓口開設中!

【日時】毎週木曜日 10:00 ～ 19:00
（年末年始・祝日は除きます）

【場所】新潟市中央区 鏡が岡

相談窓口は、本道路事業に関わる皆さまの「疑問」や「不安」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に開設しています。ぜひご利用ください。

2 栗ノ木川の付替工事

栗ノ木道路の高架橋を施工するため、先行して栗ノ木川付替を行います。まず、仮水路に移設した後、新しい河道を整備していきます。

④笹越橋下流部では、杭（鋼管矢板）の打ち込み工事を進めています。11 月中には杭（鋼管矢板）の打ち込みが完了する見込みです。なお、工事中に検出された地中の油分は適切に処理しており、河川への流出は見られません。

⑤笹越橋上流部では、仮水路をつくる工事を行っています。仮水路用の矢板打ち込み工事がほぼ終わり、掘削工事を 11 月から開始しています。

笹越橋下流部の栗ノ木川付替工事の状況（10 月 27 日撮影）

笹越橋上流部の栗ノ木川付替工事の状況（9 月 30 日撮影）

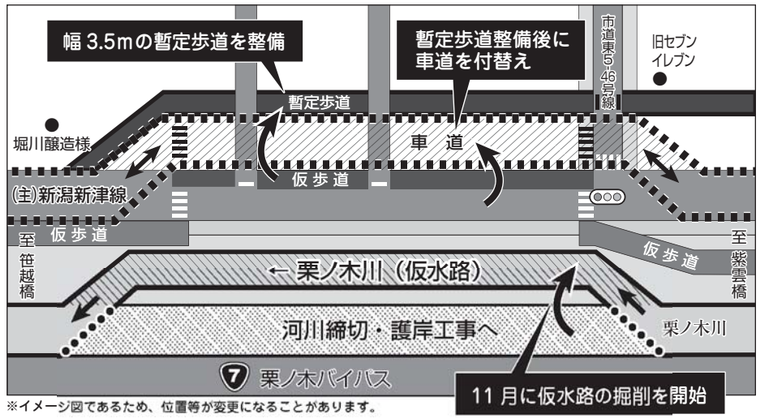
3 道路の付替工事

⑥主要地方道新潟新津線では、引き続き電柱の移設工事を行っています。今後、幅 3.5mの暫定歩道を整備し、車道も合わせて付替ていく予定です。

（主）新潟新津線の付替工事の状況
（9 月 25 日撮影）

＜栗ノ木川・（主）新潟新津線の付替後のイメージ＞

栗ノ木川は、一時的に仮水路に付替ます。（主）新潟新津線は、暫定歩道の整備後、車道の付替を行います。車道の付替時期については、本紙でおってご案内いたします。



※イメージ図であるため、位置等が変更になることがあります。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山３丁目・鐙３丁目で埋蔵文化財の試掘調査を行っております。なお、現時点で遺跡等は発見されていません。

今後も、周辺環境と道路利用者への安全に配慮し工事を行ってまいります。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■定点観測（10 月 20 日撮影・工事進捗状況）

●お知らせ●　次号も、工事の進捗状況を中心にお伝えする予定です。

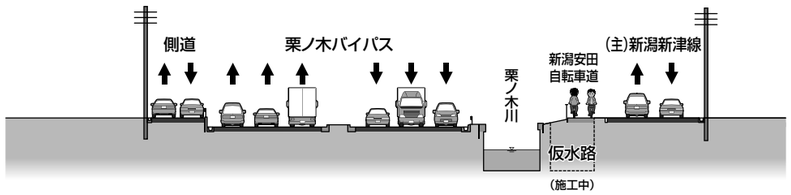
栗ノ木道路・紫竹山道路 Q&A

Q. 栗ノ木バイパスの工事はどのように進めるの？

A. 栗ノ木バイパスと栗ノ木川の範囲に栗ノ木道路の高架道路を整備します。
工事による混雑ができるだけ発生しないように、道路の切り回しを行いながら高架道路や栗ノ木川の付替工事を進めます。工事の大まかな進め方は下のイメージ図のとおりです。

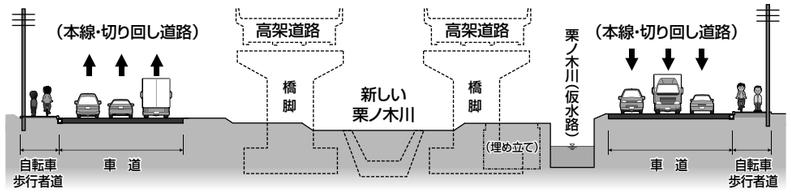
現　況

高架道路を工事するために栗ノ木川と（主）新潟新津線の間に仮水路を設置します。



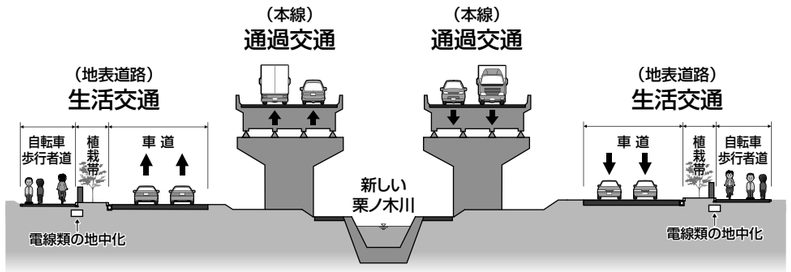
高架道路工事中の切り回し

本線を両側に切り回して、中央部に新しい栗ノ木川と高架道路を建設します。



完　成　形

高架道路が完成したら、通過交通を高架道路に流します。その後、地表道路を完成形で整備し、電線類の地中化を行います。



通過交通と生活交通に分けることで、生活にやさしい道路になります。

今後の予定は？

栗ノ木道路・紫竹山道路区間では、引き続き土地・建物調査を行い、用地協議等を進めさせていただきます。

紫竹山３丁目・鐙３丁目で埋蔵文化財の試掘調査を行っております。なお、現時点で遺跡等は発見されていません。

今後も、周辺環境と道路利用者への安全に配慮し工事を行ってまいります。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■工事進捗状況写真（11 月 28 日撮影）

●お知らせ●　次号は、紫竹山ICの改良工事を中心にお伝えする予定です。

工事状況のお知らせ

今年度の栗ノ木道路・紫竹山道路事業では、「紫竹山ICの改良工事」、「栗ノ木川付替工事」、「主要地方道新潟新津線の付替工事」と大きく分けて3種類の工事を行っています。

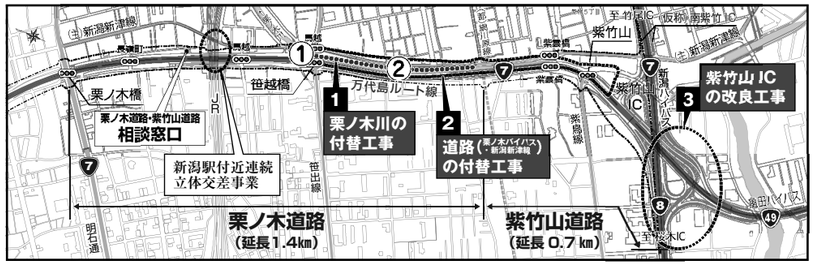
さらに、JR交差部周辺では「新潟駅付近連続立体交差事業」（事業主体＝新潟市）に伴う工事が行われています。

本号では、「栗ノ木川付替工事」を中心にご紹介いたします。

■工事名称・施工業者一覧

位置	工事名称		施工業者
1	栗ノ木道路	栗ノ木川付替工事	株式会社皆川組
	〃	栗ノ木川付替その２工事	株式会社坂詰組
	〃	栗ノ木川付替その３工事	株式会社本間組
2	栗ノ木道路	本馬越舗装工事	本間道路株式会社
	〃	地表道路改良工事	株式会社テックアサヒ
3	紫竹山道路	紫竹山ランプ橋下部工事	株式会社小林組
	〃	紫竹山ＩＣ改良工事	株式会社新潟藤田組
	〃	紫竹山ＩＣ改良その２工事	株式会社廣瀬
	信越線新潟駅付近高架化笹口工区２（旧白新上り線桁撤去）		鹿島・西松・福田共同企業体

■工事実施箇所位置図　※①～②は下段の説明文と対応

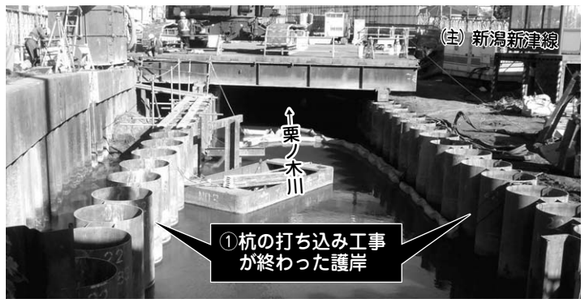


栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中！
【日時】毎週木曜日10時～19時（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

1　栗ノ木川の付替工事

高架道路を工事するため、先行して栗ノ木川の付替を行います。まず、川を仮水路に移設した後、新しい栗ノ木川を整備していきます。

①笹越橋下流部では杭の打込工事が終わり、今後、川の上にフタをかけ、道路にする工事を予定しています。

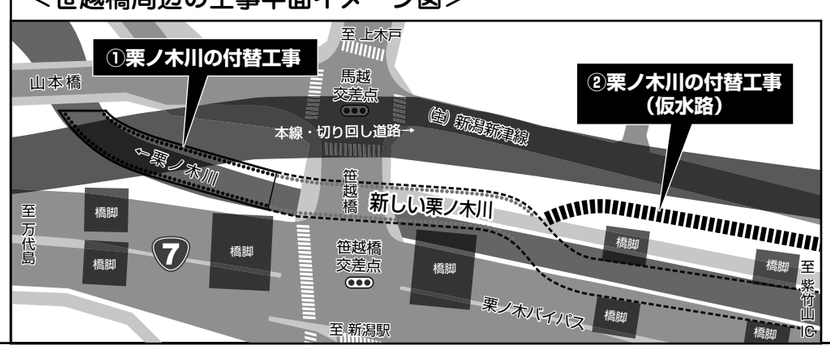


笹越橋下流部の栗ノ木川付替工事の状況（11 月 21 日撮影）

②笹越橋上流部では、高架道路を工事するため、栗ノ木川を一時的に仮水路へ付替ます。仮水路内の掘削工事はほぼ終わり、12 月上旬の川の付替に向けた準備をしています。なお、工事中に検出された地中の油分は適切に処理しております。

笹越橋上流部の仮水路掘削工事の状況（11 月 21 日撮影）

＜笹越橋周辺の工事平面イメージ図＞



※左の図の「橋脚」と「本線・切り回し道路」は、現在行っている工事の目的をわかりやすくするためのものです。実際の工事の順番は、栗ノ木川付替工事→本線・切り回し道路工事→高架道路（橋脚）工事の順に実施していきます。

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 54 号

編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通１番町602番地1

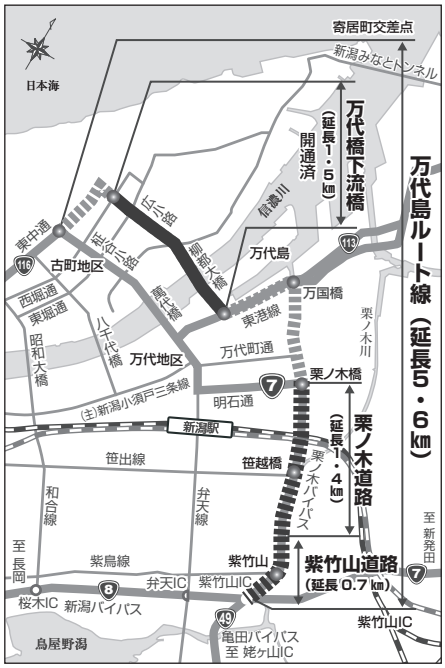
栗ノ木道路・紫竹山道路 Q&A

Q. 万代島ルート線とはどんな道路?

A. 新潟バイパス紫竹山ICから栗ノ木バイパス・柳都大橋を通り、中央区寄居町に接続する延長約 5.6km の都市計画道路です。

【万代島ルート線の特徴】
●新潟バイパス・亀田バイパスと古町地区を信号なしで直結します。

※栗ノ木道路・紫竹山道路は、万代島ルート線の一部として整備しているものです。



Q. 高架道路になるとどんなメリットがあるの?

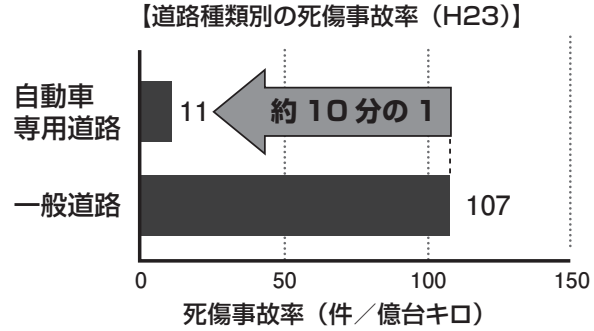
A. 高架道路には以下のような利点があります。

1. スムーズな交通流・渋滞の解消

●連続的に立体化し、交差点をなくします。
●交通の流れがスムーズになります。

2. 交通事故の削減

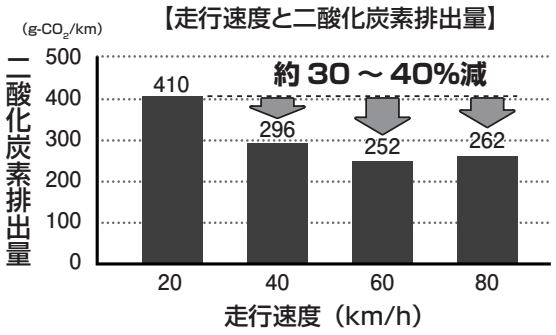
●自動車専用道路では、死傷事故の発生は一般道路の約 10 分の 1 となっています。



※警察庁資料

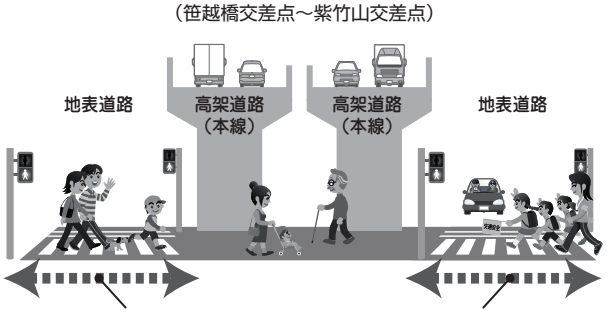
3. 環境の向上

●交通の流れがスムーズになることで、燃費が向上し、二酸化炭素排出量が減少します。



出典：国土交通省資料

●大型車等の通過交通は高架道路を通行し、沿道から離すことにより、騒音を低減します。
●高架下空間を通行できるので、横断方向の往来がしやすくなります。



国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路
くりのき通信 かわら版
第 55 号

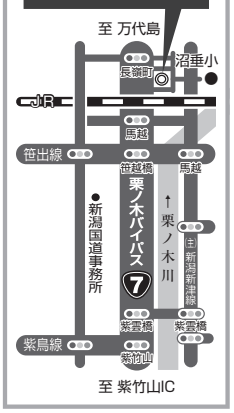
編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中!

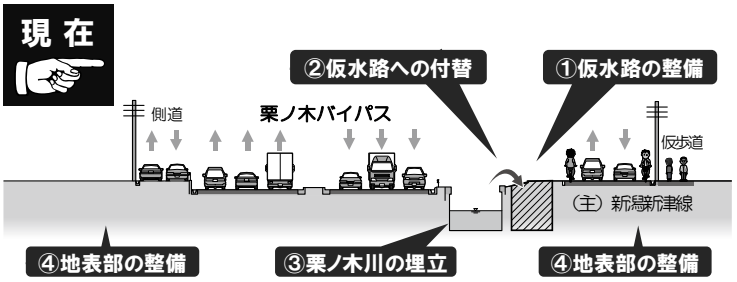
【日時】毎週木曜日10時～19時
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

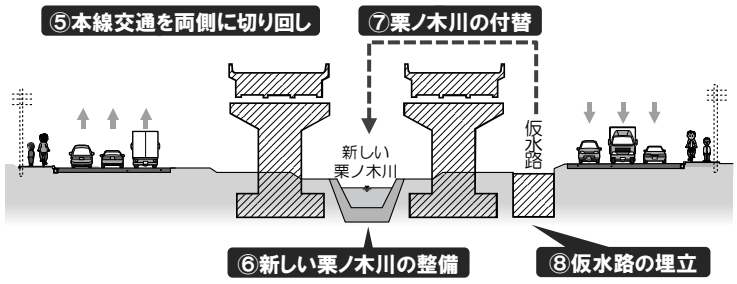
【位置図】

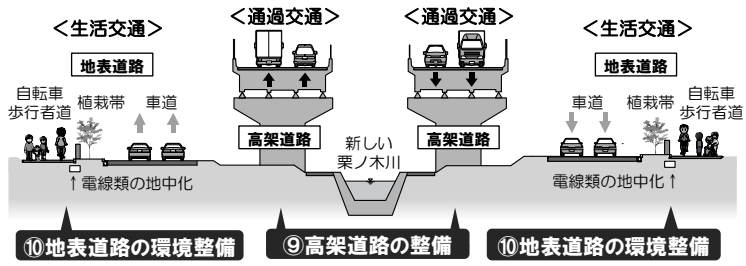


■工事の状況と進め方

栗ノ木バイパス区間

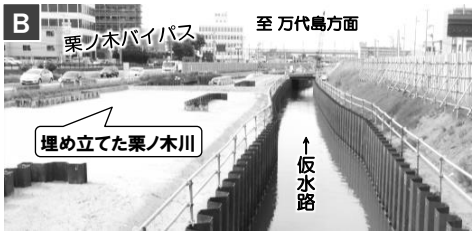






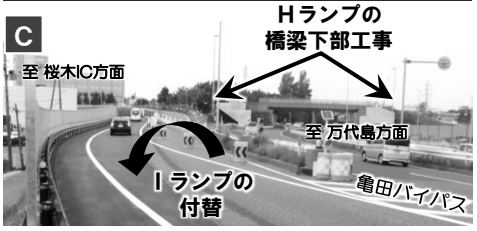
※写真撮影の位置及び方向は下図に記載

●(主)新潟新津線の拡幅工事を行っています。
（H27.5.14撮影）



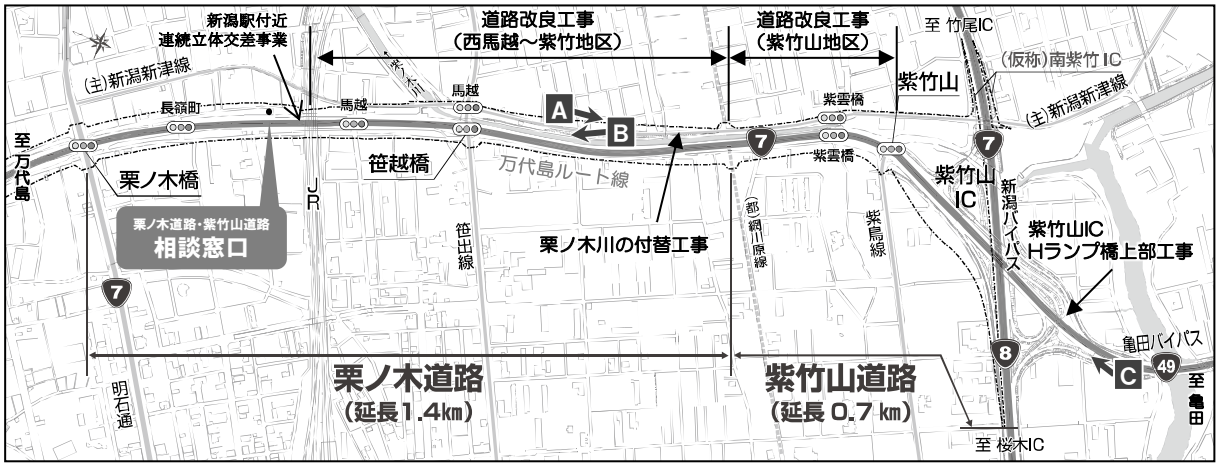
●栗ノ木川を仮水路に付け替え、埋立を行っています。（H27.5.14撮影）

紫竹山IC周辺



●亀田バイパスから桜木IC方面に向かうIランプの付替が終わりました。

●栗ノ木道路本線から桜木IC方面に向かうHランプの橋梁下部工事が終わりました。今年度は上部工（橋桁）を架設する予定です。
（H27.5.15撮影）



くりのき通信 かわら版

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路

第56号

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中！

【日時】毎週木曜日10時～19時
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

■平成27年度の事業予定

箇所名	栗ノ木道路	紫竹山道路
主な事業内容	● 西馬越～紫竹地区の道路改良工事（地表部の整備） ● 栗ノ木川の付替工事（仮水路の整備、仮水路への付替、埋立） ● 用地買収 ● 道路設計、構造物設計	● 紫竹山地区の道路改良工事（地表部の整備） ● 紫竹山IC Hランプ橋上部工事（栗ノ木道路本線から桜木IC方面への接続路の橋梁） ● 用地買収 ● 道路設計、構造物設計

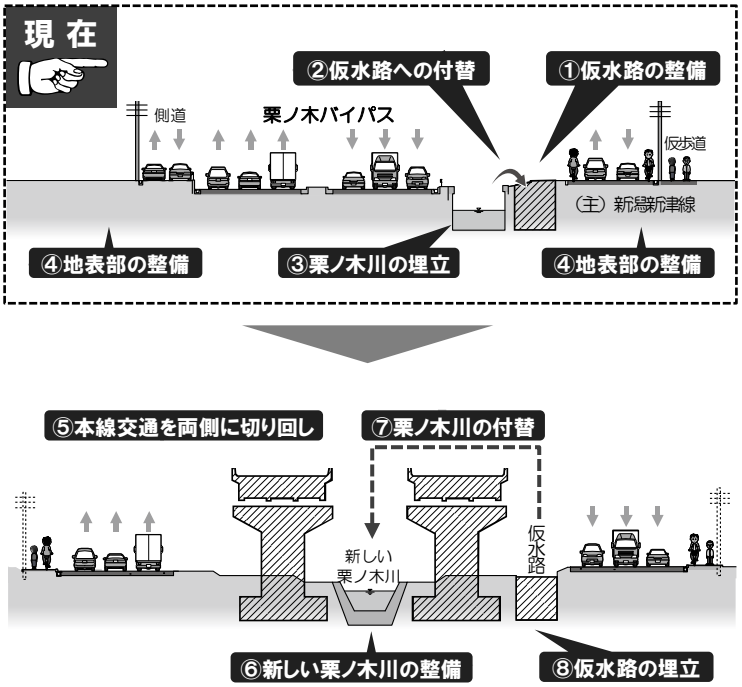
国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 くりのき通信 かわら版 第57号

■工事の状況と進め方

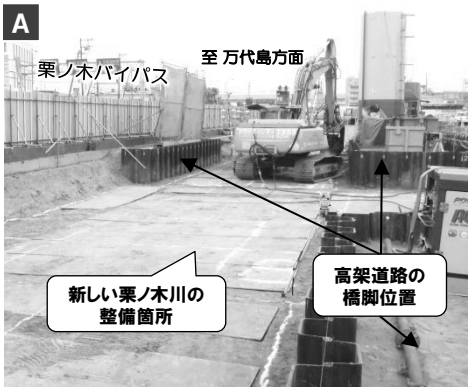
栗ノ木バイパス区間

現在は、「高架道路の橋脚」と「新しい栗ノ木川」を整備するため、栗ノ木川の埋立と地盤改良工事を行っています。

＜工事のステップ＞



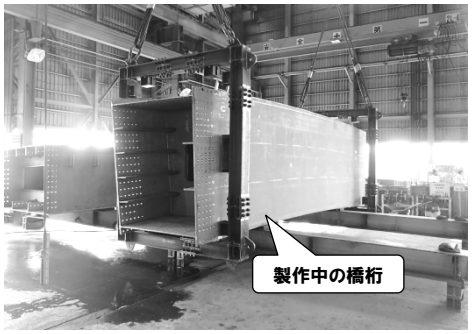
※写真撮影の位置及び方向は下図に記載



●工事の状況（H27.6.15撮影）
土壌を撹拌する特殊な重機を使って、地盤を強くする工事を行っています。

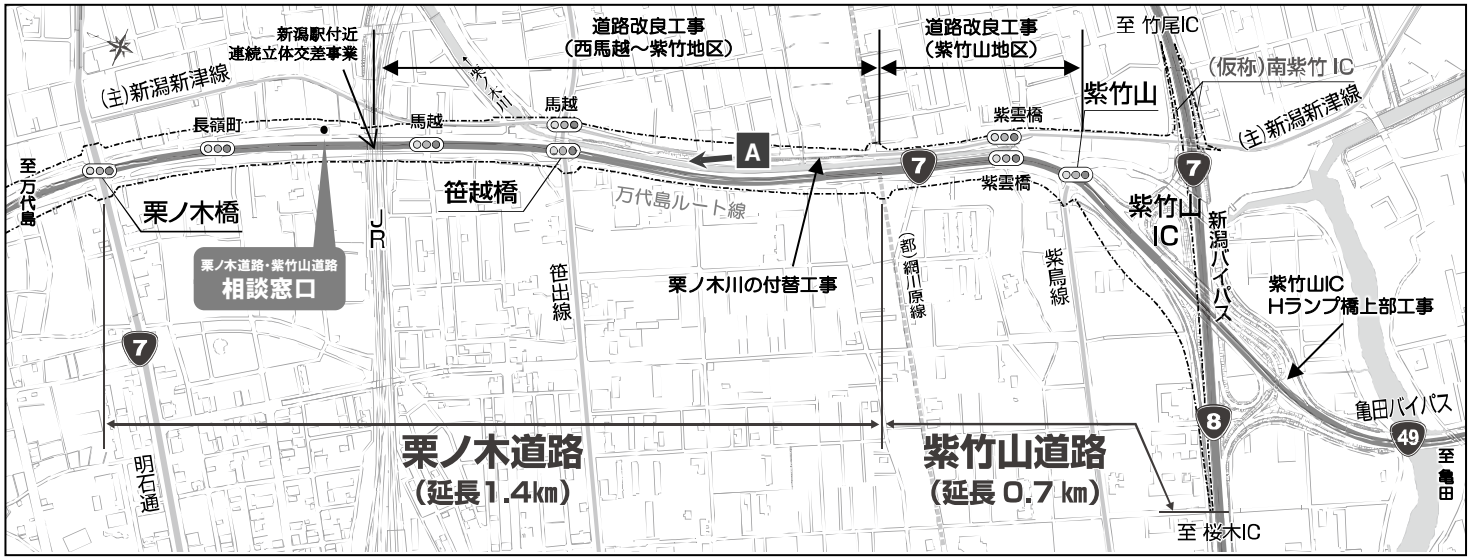
紫竹山IC周辺

●栗ノ木道路本線から桜木IC方面に向かうHランプの橋桁は工場で製作中です。



（H27.5.27撮影）

＜平成27年度工事位置図＞



編集・発行・お問い合わせ先
■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65
■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中！

【日時】毎週木曜日10時～19時
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

紫竹山ＩＣの改良
～フルジャンクション化して平面交差がなく、安全・スムーズな通行になります～

●新しい紫竹山 IC は、ノンストップで栗ノ木道路（高架道路）と新潟バイパス・亀田バイパスを結びます。
●工事による混雑ができるだけ発生しないように、少しずつ道路の形状を変更しながら、各ランプ等を整備します。

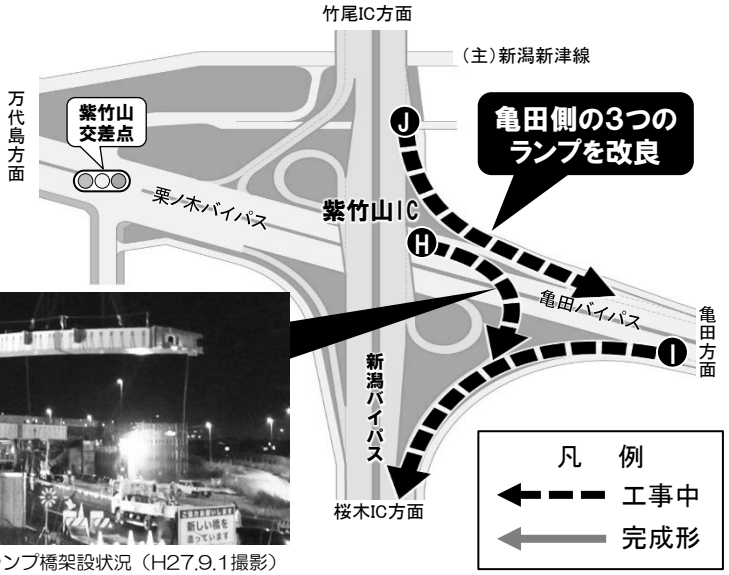
＜工事のステップ＞

1 亀田側のランプ改良

・紫竹山IC亀田側の３つのランプを完成形に改良

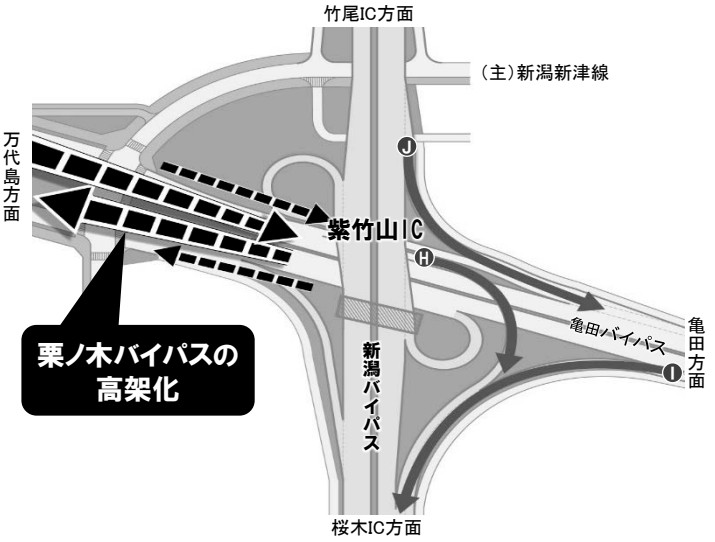
現在
- H 橋台工事済み 橋桁工事中
- I 仮設ランプで通行中
- J 工事完了

クレーンによるHランプ橋架設状況（H27.9.1撮影）



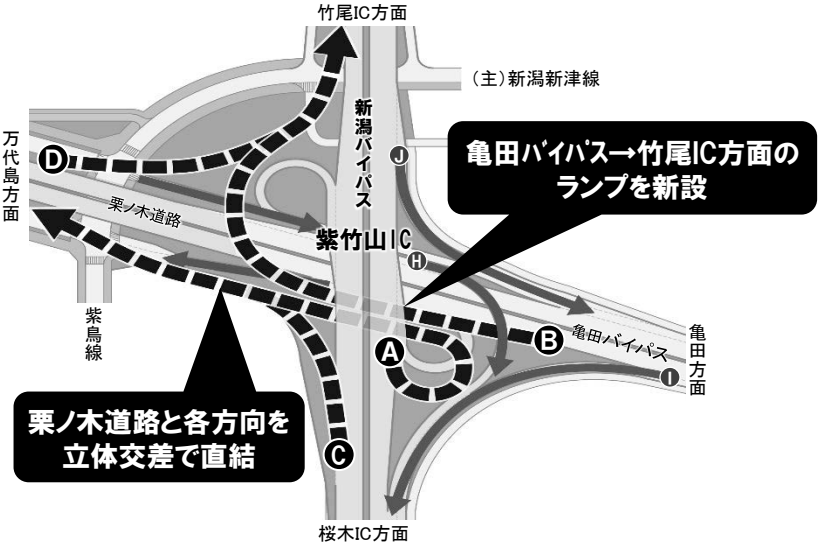
2 栗ノ木バイパスの高架化

・栗ノ木バイパス中央に高架道路を整備し、高架化



3 紫竹山ICのフルジャンクション化（全方向を立体交差）

・栗ノ木道路(高架道路)と各方向をランプで直結（A, C, Dランプ）
・亀田バイパス→竹尾方面ランプを新設（Bランプ）



完　成

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 くりのき通信 かわら版
第58号

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中！

【日時】毎週木曜日10時～19時
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

■工事の状況

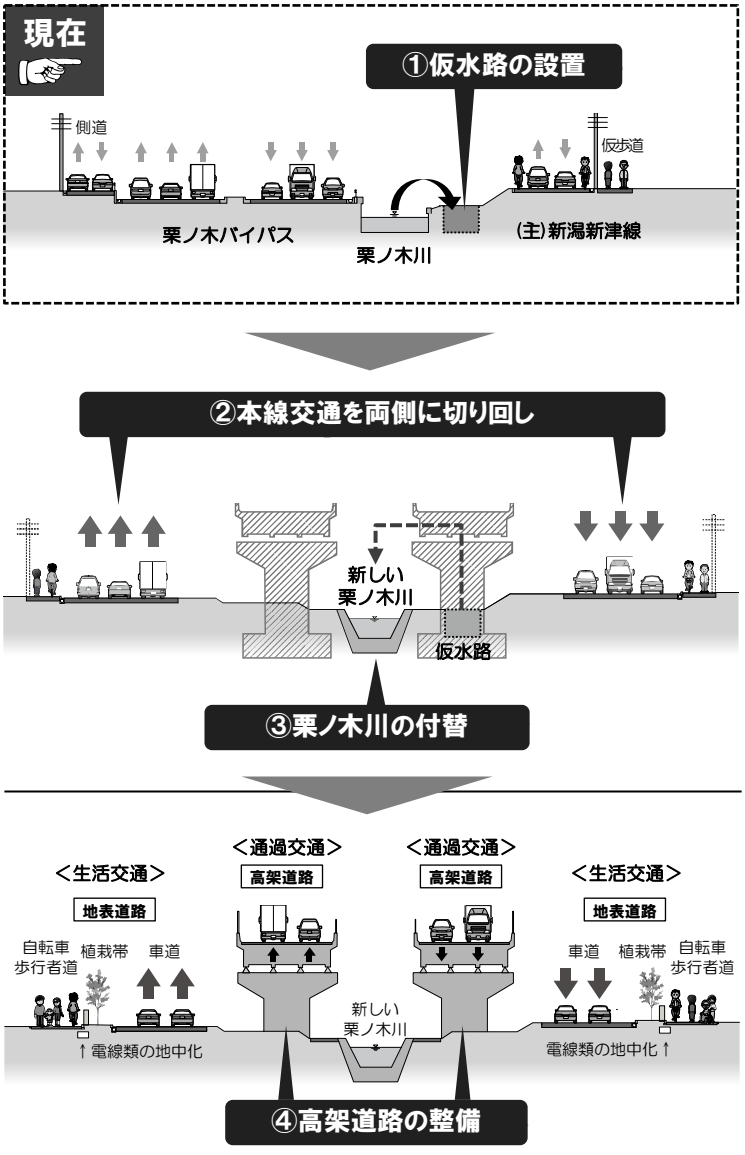
栗ノ木バイパス区間

「高架道路の橋脚」と「新しい栗ノ木川」を整備するため、栗ノ木川の埋立と地盤改良工事を行っています。

＜定点写真＞

笹越橋交差点付近から紫竹山ICを望む（H27.10.27撮影）

＜工事のステップ＞



完成　［通過交通］と［生活交通］に分けることで、生活にやさしい道路になります。

栗ノ木川仮水路施工状況（H27.11.4撮影）

地表道路整備状況（H27.11.4撮影）

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 くりのき通信 かわら版

第59号

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

紫竹山ＩＣ周辺

栗ノ木バイパス高架道路とフルジャンクション化するため、ランプ（接続路）の改良工事を行っています。

ランプ橋の床版工事状況（H27.11.6撮影）

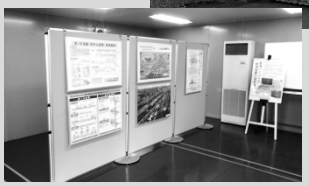
栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口がリニューアル

【開設日時】毎週木曜日の１０時～１９時（年末年始・祝日は除きます）
【場　　所】新潟市中央区 鏡が岡

相談窓口は、地域の皆さまの栗ノ木道路・紫竹山道路事業に関する「不安」や「疑問」を少しでも取り除く手助けとなることを目的に、開設した窓口です。

この度、新たにPRコーナーを設置しました。事業の概要等を紹介していますので、ぜひ、お気軽にお越しください。

外観



PRコーナー

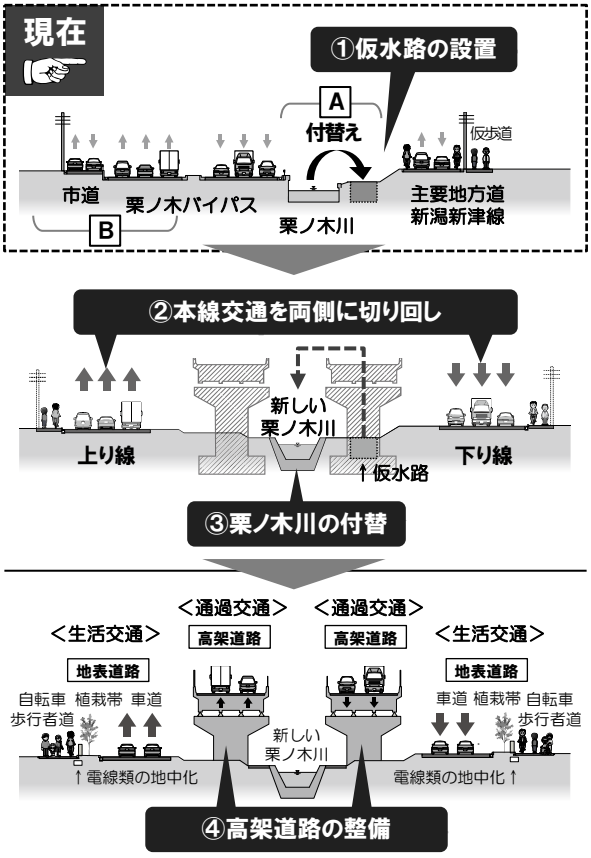
■工事の状況

栗ノ木バイパス区間

「高架道路の橋脚」と「新しい栗ノ木川」を整備するため、仮水路工事と、栗ノ木バイパスを主要地方道新潟新津線と市道に切り回すための工事を行っています。

＜定点写真＞　笹越橋交差点付近から紫竹山ICを望む（H27.11.27撮影）

＜工事のステップ＞



完成　［通過交通］と［生活交通］に分けることで、生活にやさしい道路になります。

＜工事の状況写真＞　※A・Bは上写真・左図と対応

栗ノ木川の仮水路を設置するため、鋼矢板を打設しています（H27.12.9撮影）

国道を切り回すための整備を行っています（H27.12.13撮影）

国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 くりのき通信 かわら版

第６０号

編集・発行・お問い合わせ先

■国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所
調査課・用地第一課・工務第一課
TEL(025)244-2159(代表)
〒950-0912
新潟市中央区南笹口2-1-65

■新潟市土木部道路計画課
TEL(025)226-3041(直通)
〒951-8550
新潟市中央区学校町通
1番町602番地1

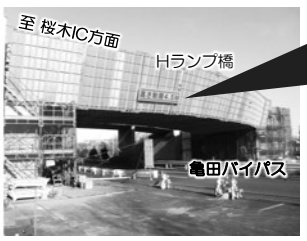
栗ノ木道路・紫竹山道路 相談窓口 開設中！

【日時】毎週木曜日10時～19時
（年末年始・祝日は除きます）
【場所】新潟市中央区 鏡が岡

紫竹山ＩＣ周辺

栗ノ木バイパス高架道路とフルジャンクション化するため、ランプ（接続路）の改良工事を行っています。

ランプ橋の床版コンクリートと高欄が完成し、今後、舗装工事を行います。



床版コンクリートを打設しました（H27.12.9撮影）